

令和4年度

公認スポーツ指導者等表彰
受賞者名簿



公益財団法人

日本スポーツ協会



挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまでも、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



JSPPO

Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

OFFICIAL PARTNERS



LOTTE

大塚製薬

セレスポ



ニチバン

三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

日本文化出版



時事通信



OFFICIAL SUPPLIERS



MIKASA



東武トップツアーズ



JTB

日本体育施設



PRTIMES

KEM
京都電子工業



Photo Create

目 次

公認スポーツ指導者等表彰要項	2
----------------	---

受賞者名簿

表彰の基準第1号 指導者	4
表彰の基準第1号 スポーツドクター	24
表彰の基準第2号	29
表彰の基準第3号	44
表彰の基準第5号	44

公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰要項

1. 趣旨

永年にわたりスポーツ指導者として、スポーツの指導育成及び組織化、競技力の向上、公認スポーツ指導者制度の発展その他国民スポーツの振興に貢献した者のうち、特に顕著な功績があった者を表彰し、その功に報いるとともに、将来のスポーツ界を担う若手指導者の奨励を通じて、今後における公認スポーツ指導者制度の一層の発展に資する。

2. 表彰の基準

表彰の対象は、以下の各号の基準を満たす者とし、第1号から第4号までは公認スポーツ指導者とする。

(1) 永年表彰

公認スポーツ指導者資格登録認定後、通算15年以上にわたりスポーツの指導育成及び組織化等に尽力し、顕著な功績が認められ、原則として所属する中央・都道府県・市区町村の各競技団体若しくは都道府県・市区町村体育（スポーツ）協会、又は国・地方公共団体から表彰を受けた者。ただし、過去において本基準による表彰を受けたことがない者であること。

(2) 優秀選手育成賞

公認スポーツ指導者として、競技の普及や競技力の向上に尽力し、前年度に開催されたオリンピック競技大会、アジア競技大会又はこれに準じる国際大会において、優秀な成績をあげた選手を育成指導してきた者。ただし、過去において同一選手の成績に基づき本基準による表彰を受けたことがない者であること。

(3) 若手指導者奨励賞

受賞年度に満30歳以下の者のうち、今後、当該推薦団体において中心的な役割を担うことが期待される者。ただし、過去において本基準による表彰を受けたことがない者であること。

(4) 退任感謝状

おおむね15年以上にわたりスポーツの指導育成に貢献し、特に顕著な功績を残し退任した公認スポーツ指導者。

(5) 特別功労表彰

公認スポーツ指導者制度の確立及び発展などのために貢献し、顕著な功績があるとして本会が特に認めた者、並びに公認スポーツ指導者として特に模範となる功績を上げた者と本会が特に認めた者。

3. 候補者の推薦

候補者の推薦は、次の各号により行うものとする。

- (1) 前項第1号に定める候補者については、加盟都道府県体育（スポーツ）協会及び加盟中央競技団体、別に定める様式により推薦を行うものとする。この場合、都道府県体育（スポーツ）協会については、前年度公認スポーツ指導者登録者数500名まで1名、以下500名までを越えるごとに1名を増やした人数を、中央競技団体については、1団体3名以内を推薦することができる。

- (2) 前項第2号および第3号に定める候補者については、加盟中央競技団体が別に定める様式により推薦を行うものとする。
- (3) 前項第4号に定める候補者については、加盟団体が特に必要と認めた場合に推薦を行うものとする。
- (4) 前項第5号に定める候補者については、本会が直接推薦を行うものとする。

4. 被表彰者の決定

被表彰者は、本会会長が指導者育成委員会の審査を経て、決定するものとする。
ただし、前項第4号については、加盟団体長にその審査を委任することができる。

5. 表彰の方法

表彰の基準第1号、第2号、第4号、第5号については、本会会長が表彰状又は感謝状を授与する。
表彰の基準第3号については、本会指導者育成委員会委員長が表彰状を授与する。

6. 附則

この要項は平成7年5月16日から施行する。

この要項は平成11年3月8日から施行する。

この要項は平成19年8月22日から施行する。

この要項は公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

この要項は平成27年9月24日から施行する。

この要項は平成30年4月1日から施行する。

この要項は令和元年6月21日から施行する。

【表彰の基準 第1号】指導者 153名

公認スポーツ指導者として、資格認定後15年以上にわたり、スポーツの指導育成及び組織化などに尽力し、顕著な功績が認められた方。

●都道府県体育・スポーツ協会推薦

推薦団体：公益財団法人 北海道スポーツ協会

氏名	赤松 幸広 (アカマツ ユキヒロ)
資格名	陸上競技コーチ3
主な功績	1993年から地域における陸上競技指導を熱心に行い、2011年から札幌陸上競技協会強化委員長として普及強化のために、組織的な指導体制を構築、成果を上げている。また、2013年から同協会常務理事として組織運営にも貢献している。
氏名	角谷 巍啓 (カドヤ タカフミ)
資格名	バスケットボールコーチ1、アシスタントマネジャー
主な功績	1970年から地域の少年少女のバスケットボール指導に携わり、永年普及振興に努める。また2004年から帯広地区バスケットボール協会の理事長を務め、2012年に北海道バスケットボール協会、2019年には日本バスケットボール協会から功績が認められ表彰される。1998年から帯広市スポーツ協会の事務局長、理事長を歴任し十勝区のスポーツ振興に尽力した功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 岩手県体育協会

氏名	佐々木 君夫 (ササキ キミオ)
資格名	アーチェリーコーチ1
主な功績	永年にわたり、岩手県アーチェリー協会や盛岡市アーチェリー協会の役員を務め、岩手県内でのアーチェリー競技の普及・発展、組織の充実に多大な貢献をした。第71回国民体育大会(岩手県)では競技役員として、競技会を成功に導くなど、現在も各種大会運営や高齢者や障がい者の指導に尽力しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	富谷 行雄 (トミヤ ユキオ)
資格名	ボウリングコーチ1
主な功績	岩手県ボウリング連盟や盛岡市ボウリング協会の役員を歴任し、ボウリング競技の普及、組織の発展に大きく寄与している。選手強化では県外大会への参加を奨励するなど、競技力向上に指導力を発揮し、少年男子監督を務めた第64回国民体育大会(新潟県)では入賞者を輩出するなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	外村 進 (ソトムラ ススム)
資格名	銃剣道コーチ1
主な功績	永年にわたり、岩手県銃剣道連盟の理事長、副会長を務め、銃剣道競技の普及や組織の運営・発展に尽力してきた。特に2011年から2016年まで銃剣道国体強化コーチとして少年種別の育成、指導に尽力し、第68回国民体育大会(東京都)では第4位の成績を収めるなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	佐藤 昌仙 (サトウ ショウセン)
資格名	弓道コーチ1
主な功績	永年にわたり、岩手県弓道連盟理事を務め、指導委員長として弓道の技術指導の普及に努めるほか、高等学校弓道部のコーチや全日本弓道連盟の中央委員として全国各地の講習会講師として後進の指導・育成を担っている。第71回国民体育大会(岩手県)では競技役員として、競技会を成功裡に導くなど、その功績は誠に顕著である。

氏名	清藤 祐貴雄 (セイトウ ユキオ)
資格名	山岳コーチ1
主な功績	高等学校教員として、山岳・スポーツクライミング競技の普及、競技力向上に努め、国民体育大会や全国高等学校総合体育大会等において多数の入賞者を輩出した。また、岩手県山岳・スポーツクライミング協会指導委員会では競技力の向上や各種大会での選手育成に努め、スポーツの振興に貢献するなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	塚田 美和子 (ツカダ ミワコ)
資格名	陸上競技コーチ3
主な功績	高等学校教員として、全国高等学校総合体育大会等において活躍する選手を数多く輩出し、教え子がオリンピックに出場するなど、岩手県内のスポーツ関係者に与えた影響は多大である。また、岩手陸上競技協会の競技力向上に携わるとともに、日本陸上競技連盟の強化育成部員としても活躍するなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	安藤 綾二 (アンドウ リョウジ)
資格名	ソフトテニスコーチ3
主な功績	高等学校教員として、ソフトテニス競技の普及、競技力向上に努めるとともに、国民体育大会における監督・コーチとして少年種別の指導強化や競技者育成プログラムの推進を図った。2017年からは岩手県高等学校体育連盟ソフトテニス専門部委員長として高校生の指導育成の中心的な役割を果たしており、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 秋田県スポーツ協会

氏名	馬場 昭江 (ババ アキエ)
資格名	カヌーコーチ4
主な功績	永年にわたり、カヌースラローム競技の競技力向上及び普及発展に積極的に取り組んでいる。特に競技力向上については、少子高齢化の中人材の発掘に力を入れ、幼少期から指導にあたり、オリンピック選手をはじめとする数多くの日本代表選手を秋田県から輩出している。この功績は、秋田県のみならず、日本のカヌースラローム競技の発展においても誠に顕著である。
氏名	伊藤 光長 (イトウ ミツナガ)
資格名	ライフル射撃コーチ3
主な功績	2005年から秋田県ライフル射撃協会の理事長、事務局長、会長を歴任し、組織運営と発展に尽力している。また、指導者として、永年にわたり、小・中・高・一般の各カテゴリーに対して献身的に射撃指導を行っており、競技力向上や普及に努めている。
氏名	今野 昌雄 (コンノ マサオ)
資格名	山岳コーチ1
主な功績	永年にわたり、秋田県山岳・スポーツクライミング連盟の運営に携わり、副会長や顧問を歴任し、競技力向上や選手育成、組織の発展に尽力した。また、高校教員在職中は、国民体育大会や全国高等学校総合体育大会の山岳・登山競技に数多くのチームや選手を輩出するなど、指導者としての手腕を大いに発揮した功績は誠に顕著である。
氏名	中野 舞 (ナカノ マイ)
資格名	新体操コーチ3
主な功績	2002年から新体操競技の普及・強化のため、ジュニアクラブで新体操の指導にあたっている。指導者として常に学ぶ意欲を持ち続け、日本体操協会強化選手の海外遠征に帯同し、最先端の指導方法を学び実践している。また、これまで指導してきた選手の2名がフェアリージャパンに選出されるなど、その手腕を大いに発揮している。

推薦団体：公益財団法人 山形県スポーツ協会

氏名	宮内 悟 (ミヤウチ サトル)
資格名	陸上競技コーチ4
主な功績	山形陸上競技協会強化委員として、第47回国民体育大会(山形県)の選手強化をはじめ永年選手の指導育成・競技力向上に努め、2019年からは日本陸上競技連盟ジュニアコーチ養成講習会を担当し指導者の養成に携わるなど、スポーツ振興に寄与する功績は顕著である。

氏名	丹野 康志 (タンノ ヤスシ)
資格名	水泳コーチ2
主な功績	1988年に実施した山形市体育協会主催勤労者水泳教室の講師を皮きりに現在まで各種競泳競技大会、身障者大会、小学生対象の水泳教室の運営・指導に永年携わった。第47回国民体育大会(山形県)では水球競技役員として参加、その後の水球の普及広報活動にも寄与している。さらには山形市水泳連盟事務局長、山形県水泳連盟常任理事として組織の重要な役割を担い、その功績は誠に顕著である。
氏名	柏倉 達雄 (カシワグラ タツオ)
資格名	ソフトテニスコーチ1
主な功績	1993年からスポーツ少年団のコーチおよびソフトテニス連盟の役員として、地域の指導者として競技の普及振興に努めた。2005年から3年間にわたり国民体育大会山形県チームのコーチを務めた。さらには、山形県ソフトテニス連盟理事長として選手の競技力向上に努め、国民体育大会少年男子の部において、第70回大会(和歌山県)3位、第72回大会(愛媛県)3位、第73回大会(福井県)5位など、指導者を牽引してきた功績は顕著である。
氏名	遠藤 保樹 (エンドウ ヤスキ)
資格名	バドミントンコーチ3
主な功績	2002年から現在まで山形県内はもとより地元鶴岡市において、選手の強化普及に貢献するとともに指導者の育成にも力を注いだ。現在、バドミントンS/Jリーグで活躍している選手の指導も行うなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	矢萩 裕 (ヤハギ ユタカ)
資格名	アスレティックトレーナー
主な功績	公認アスレティックトレーナー山形県連絡協議会の代表として会を取りまとめ、2001年に発足したNPO法人山形県トレーナー協会の理事長を務めている。また、現在まで多くの競技での大会帯同トレーナーを務め、山形県スポーツ医科学の普及発展に尽力しており、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 茨城県スポーツ協会

氏名	坂本 禮子 (サカモト レイコ)
資格名	ソフトボールコーチ2
主な功績	茨城県ソフトボール協会の総務委員として1987年から35年間継続して協会の運営に携わっている。2004年から2013年まで茨城県ソフトボール協会の女性審判委員長として組織化に尽力した。第74回国民体育大会(茨城県)では、ソフトボール成年女子副審判委員長を務め、競技会を運営した。地域スポーツ活動では、1991年から31年間ひたちなか市スポーツ推進委員会副委員長を務めている。

推薦団体：公益財団法人 群馬県スポーツ協会

氏名	鈴木 芳文 (スズキ ヨシフミ)
資格名	サッカーコーチ4
主な功績	永年にわたり、教育に携わり、主として高等学校の現場において手腕を発揮し、自らも活躍したサッカー競技に関わる部活動顧問として指導・普及に努めた。また、国民体育大会の群馬県選抜チーム監督を務め、群馬県のサッカー界発展に大きく貢献した。豊富な経験に基づく高い見識と実行力の功績は顕著である。
氏名	茂木 一夫 (モギ カズオ)
資格名	水泳コーチ2
主な功績	1970年から群馬県水泳連盟並びに前橋市水泳協会に所属し、地域のスイミングスクールと連携し、初心者水泳指導や安全水泳の普及に努める。また、1981年から1991年まで群馬県小学校体育研究会水泳部副委員長として活動も行っていった。現在、群馬県水泳連盟地域指導者委員会の講師として指導者の育成・普及に努めている。
氏名	高橋 正明 (タカハシ マサアキ)
資格名	空手道コーチ4
主な功績	1979年から37年間高校空手道部顧問を務め、1990年から13年間群馬県空手道連盟における国民体育大会監督・競技力向上委員を務める。この間高校では全国大会入賞、国民体育大会では1998年の第53回大会(神奈川県)で天皇杯第4位入賞するなど数多くの優秀選手を輩出する。現在、群馬県空手道連盟常任理事、また、全日本空手道連盟資格審査委員を務めており競技力向上への功績は誠に顕著である。

氏名	本間 章 (ホンマ アキラ)
資格名	スケートコーチ3
主な功績	2006年から群馬県スケート連盟のスピード部強化部長として、現場指導をしながら県全体の選手強化に携わった。その後、2011年度から2021年度まで群馬県スポーツ協会からマネジメントコーチの委嘱を受け、フィギュア、スピード、ショートの3部門の統括強化を担当した。孺恋高校時代の指導実績としては、全国大会での優勝者や世界大会に選抜される選手を数多く輩出し、群馬県のスケート競技強化や普及に貢献した。
氏名	熊井 信也 (クマイ シンヤ)
資格名	ソフトボールコーチ1
主な功績	2008年度から2018年度まで群馬県ソフトボール協会常務理事(2014年度からは強化副委員長)を務める。第67回国民体育大会(岐阜県)では成年男子監督として優勝に貢献した。1992年から現在まで小学生、中学生、高校生を指導し、県大会・関東大会・全国大会で実績を残した。多くのソフトボール選手の育成に尽力し、指導者としてその功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 埼玉県スポーツ協会

氏名	大内 昌弘 (オオウチ マサヒロ)
資格名	スポーツプログラマー
主な功績	埼玉県スポーツプログラマー協議会理事として、永年にわたり、企画・運営の中心人物として組織の円滑化に努めた。また、地域では、川口市軟式野球連盟会長として、さらには埼玉県野球連盟副理事長、埼玉県野球連盟南部連合会会長(14支部)として、市・県民スポーツの推進並びに野球競技を中心に、各種スポーツの普及・振興への功績は顕著である。
氏名	萩原 康彦 (ハギワラ ヤスヒコ)
資格名	陸上競技コーチ1
主な功績	2002年上尾ジュニア陸上教室発足時から指導者として教室の運営に携わり、小学生陸上競技の普及・発展に貢献した。また、上尾市スポーツ推進委員としても永年にわたる活動は顕著である。こうした指導者としての活動は、他の指導者への模範となるものであり、地域スポーツ振興への功績は多大である。
氏名	古園 正博 (フルゾノ マサヒロ)
資格名	ソフトテニスコーチ1
主な功績	永年、埼玉県内の地域スポーツ、埼玉県ソフトテニス小学生連盟において、ジュニアの育成を中心に、埼玉県ソフトテニススポーツ指導者協議会の充実・発展のため、尽力した。埼玉県ソフトテニスの普及・発展への功績は多大である。
氏名	保高 智 (ホダカ サトシ)
資格名	ソフトテニスコーチ1
主な功績	永年にわたり、埼玉県ソフトテニス連盟、埼玉県ソフトテニススポーツ指導者協議会の充実・発展のために尽力した。また、指導者としてだけではなく、自身も競技を続けるとともに、後進の育成にも尽力し、埼玉県ソフトテニスの発展・充実への功績は多大である。
氏名	福田 玉子 (フクダ タマコ)
資格名	なぎなたコーチ1
主な功績	上尾市なぎなた連盟創立時から連盟の運営に携わり、指導者として国民体育大会候補選手の育成にも力をいれてきた。また、競技者としても第19回全国健康福祉祭しずおか大会(ねんりんピック静岡2006)団体戦優勝を果たすなど全国大会でも成果を挙げている。現在も同連盟事業の充実・発展のため尽力し、その功績は多大である。
氏名	田中 孝一 (タナカ コウイチ)
資格名	卓球コーチ4
主な功績	永年にわたり、埼玉県、全国の審判長として大会運営、審判員育成に貢献している。また、2002年から2014年まで埼玉県卓球協会スポーツ指導者協議部の役員として、その運営や後継者育成にも力を注ぐなど、その功績は多大である。2007年にはTTC浦和(卓球クラブ)を立ち上げ、地域の小・中・高校生の指導にも尽力し、全国で活躍する選手を多数育成してきた。埼玉県卓球競技への功績は多大である。

推薦団体：公益財団法人 千葉県スポーツ協会

氏名	坂井 治雄 (サカイ ハルオ)
資格名	ソフトボールコーチ1
主な功績	永年にわたり、指導者として子どもたちや後進の育成に尽力し、監督として全国大会に出場するなど、ソフトボールの普及・発展に貢献してきた。また、千葉県ソフトボール協会理事を務めたほか、習志野市ソフトボール協会の設立に参画し理事を務めるなど、その功績は多大である。
氏名	笠原 健資 (カサハラ ケンスケ)
資格名	空手道コーチ3
主な功績	永年にわたり、船橋市内で空手道の指導を行い、空手道の普及・発展に尽力している。また、船橋市空手道連盟理事として運営に携わりつつ、白井市空手道連盟の設立から現在まで理事として組織の充実・発展に貢献している。現在は、千葉県空手道連盟常任理事も務めるなど、その功績は多大である。
氏名	小林 典子 (コバヤシ ノリコ)
資格名	なぎなたコーチ1
主な功績	永年にわたり、船橋市内でなぎなたの技術指導を行い、船橋なでしこ会においては設立当初から指導にあたるなど、なぎなたの普及・発展に尽力している。また、船橋市なぎなた連盟の事務局長として組織の充実・発展に貢献するとともに、船橋市のスポーツ振興に尽力しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	藤倉 利満 (フジクラ トシミツ)
資格名	剣道コーチ2
主な功績	永年にわたり、千葉市立越智小学校を活動拠点とする越智剣友会で剣道の指導者として、子どもたちの協調性やリーダーシップを育む活動など、青少年の健全育成に尽力している。また、千葉市武道館での稽古会に指導者として参加し、千葉市高齢剣友会の理事を務めるなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	多田 信雄 (タダ ノブオ)
資格名	剣道コーチ1
主な功績	永年にわたり、千葉市立桜木小学校を活動拠点とする桜木剣友会で、剣道による心身の鍛錬を目標として礼儀作法や剣道の基本を重点に指導するなど、青少年の健全育成に尽力している。現在は代表として指導を行っており、これまでに多くの有段者を育成するなど、地域における功績は多大である。
氏名	重田 紀元 (シゲタ ノリモト)
資格名	ジュニアスポーツ指導員
主な功績	永年にわたり、木更津松濤館において空手道の指導者として青少年の健全育成に尽力するとともに、木更津市スポーツ少年団副本部長、本部長を歴任し、組織の充実・発展に貢献している。また、千葉県スポーツ少年団指導者協議会運営委員としても各種事業の運営に携わるなど、その功績は多大である。
氏名	富士原 文子 (フジワラ フミコ)
資格名	なぎなたコーチ1
主な功績	永年にわたり、地域においてなぎなた競技の指導活動を精力的に行っている。特に、児童・生徒に対するなぎなた競技の普及活動に尽力しており、その活動は実を結びつつあり愛好者は増加している。また、市原市なぎなた連盟の理事長・常任理事などの要職を務めるなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	石井 利夫 (イシイ トシオ)
資格名	ジュニアスポーツ指導員
主な功績	永年にわたり、富津市においてスポーツ少年団の指導者として青少年の健全育成に尽力するとともに、富津市スポーツ協会常任理事および富津市スポーツ少年団副本部長として組織の充実・発展に貢献している。また、県内のスポーツ少年団指導者の育成にも尽力するなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	多田 清明 (タダ セイメイ)
資格名	剣道コーチ2
主な功績	永年にわたり、成田市内中学校の部活動において剣道の指導を通して青少年の健全育成に寄与し、成田市における競技発展のため尽力している。また、成田市剣道協会の役員として協会の運営に携わり組織の充実・発展に貢献するとともに成田市の体育行事にも積極的に参加するなど、その功績は誠に顕著である。

氏名	伊藤 恭子 (イトウ キョウコ)
資格名	スポーツプログラマー
主な功績	永年にわたり、いすみ市体育協会加盟団体であるいすみ市太極拳協会代表として、太極拳教室や交流会を毎年開催するなど、太極拳の普及・発展に尽力している。また、いすみ市体育協会副理事長として体育協会の運営に携わり、いすみ市のスポーツ振興に尽力しており、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 東京都体育協会

氏名	坂梨 孝美 (サカナシ タカミ)
資格名	空手道コーチ4 マスター
主な功績	1980年から1998年までの間に東洋大学第2空手道部の監督を務めたほか、1991年には全日本空手道連盟糸東会のナショナルチーム選手強化部長などを歴任し、国際舞台でも活躍できる選手を育成した。また、選手育成のほかにも2011年から荒川区内で教室を開き、初心者の子供から一般まで幅広い年齢層に空手道の普及・指導を行った。2011年に東京都空手道連盟理事に就任以来、同連盟の組織改善に積極的に関与し、現在は、副会長として連盟のさらなる発展に寄与している。

推薦団体：公益財団法人 神奈川県スポーツ協会

氏名	松崎 五月 (マツザキ サツキ)
資格名	水泳コーチ2 マスター、水泳教師
主な功績	神奈川県スイミングスクールにて、1984年から10年間水泳指導を行い、アクアビクス、水中運動、ライフガードにも携わってきた。1998年から現在まで神奈川県スポーツ協会主催の水泳教室、水中ウォーキング教室の指導を務めている。また、2009年から現在まで神奈川県水泳連盟の普及委員会に所属し、研修会や指導員の養成講習会等、幅広く水泳の普及・発展に貢献し、その功績は顕著である。
氏名	甘粕 完治 (アマカス カンジ)
資格名	バドミントンコーチ1
主な功績	永年にわたり、神奈川県バドミントン協会の常任理事、横浜市バドミントン協会の理事長として組織運営に携わり、組織の活性化に貢献した。また、地域のバドミントン教室やクラブ(9団体)にて初級から上級まで幅広く指導を行うなど、競技の発展に尽力したその功績は誠に顕著である。
氏名	渋沢 直美 (シブサワ ナオミ)
資格名	水泳コーチ1
主な功績	2000年から、鎌倉水泳協会が夏季に開催する小中学生を対象とした市民水泳教室の指導に携わって以来、継続して水泳の指導にあたり、2017年からは担当役員として同教室の運営を統括している。また、年間を通して開講している大人対象の初心者水泳教室でも指導にあたり、広い世代に対する初心者指導のベテランとして、鎌倉市における水泳競技の普及発展に努めており、その功績は顕著である。
氏名	鈴木 満 (スズキ ミツル)
資格名	バスケットボールコーチ1
主な功績	神奈川県スポーツ指導者連絡協議会および関東ブロックスポーツ指導者協議会において、永年理事長の責務を十分に果たし、会の発展に寄与し、横須賀市スポーツ指導者協議会会長としても地域の活性化に現在も精力的に努めている。また、神奈川県バスケットボール協会に属し、高校教諭時代からその指導と普及活動に現在も実践するなど、これらの活動はスポーツ指導者としての範であり、その功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 山梨県スポーツ協会

氏名	中島 由光 (ナカジマ ヨシミツ)
資格名	ソフトボールコーチ1、アシスタントマネジャー
主な功績	1986年から2009年まで笛吹市内におけるソフトボール競技の推進・発展に尽力するとともに、山梨県スポーツ指導者協議会笛吹支部では理事を永年務め、地域におけるスポーツ振興の功績は顕著である。
氏名	古屋 純子 (フルヤ ジュンコ)
資格名	バレーボールコーチ1
主な功績	1980年から現在まで笛吹市内におけるバレーボール競技の推進・発展に尽力している。山梨県スポーツ指導者協議会笛吹支部では理事を永年務め、地域におけるスポーツ振興の功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 長野県スポーツ協会

氏名	玉城 良二 (タマキ リョウジ)
資格名	陸上競技コーチ3
主な功績	永年にわたり、長野陸上競技協会の理事・強化部長・普及強化委員長ならびに国民体育大会陸上競技の監督を務め、長野県における国民体育大会総合成績の向上にも貢献した。高等学校の部活動指導においては特に女子長距離の競技力向上を果たし、全国高等学校駅伝競走大会において2年連続準優勝を果たすなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	関 博文 (セキ ヒロフミ)
資格名	陸上競技コーチ1
主な功績	長野陸上競技協会飯伊支部の理事・副理事長を務め、1981年から地域の小学生を対象に陸上競技教室を開講し、1985年には第1回全国少年少女リレー競走大会に出場させた。また1993年以降、東海小学生リレー大会10回、全国小学生陸上競技交流大会7回、2005年、2006年には全国中学校駅伝大会出場を果たすなど、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 新潟県スポーツ協会

氏名	小林 琢也 (コバヤシ タクヤ)
資格名	水泳コーチ2
主な功績	2007年から新潟県水泳連盟指導者委員会委員(検定員)を務め、水泳コーチ1の養成や研修等の各種事業に携わっている。また、柏崎(2018年から柏崎水泳連盟副会長)の競泳・水球のみならずライフセービング等幅広い水泳の普及・強化等に携わり、その功績は誠に顕著である。
氏名	久保田 武 (クボタ タケシ)
資格名	水泳コーチ2
主な功績	2007年から新潟県水泳連盟指導者委員会委員(検定員)を務め、水泳コーチ1の養成や研修等の各種事業に携わっている。また、永年にわたり新潟県水泳連盟競技委員会や新潟県中学校体育連盟の主要メンバー(1999年～2009年:新潟県中学校体育連盟水泳専門部長、2022年以降:常務理事・競技委員長)としての豊富な経験を活かした指導等、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 富山県体育協会

氏名	穴田 直樹 (アナダ ナオキ)
資格名	ホッケーコーチ4
主な功績	永年にわたり、富山県ホッケー協会理事長や日本ホッケー協会理事を務め、ホッケー競技の普及発展および競技力強化に積極的に取り組んでおり、組織運営に貢献した功績は誠に顕著である。また、高校生やU21、U18ナショナルチームホッケー競技選手の育成指導・競技力強化に携わり、ホッケー競技の発展に尽力している。
氏名	新村 定香 (シンムラ サダカ)
資格名	ジュニアスポーツ指導員、スポーツプログラマー、アシスタントマネジャー
主な功績	永年にわたり、ジュニアスポーツ指導員・スポーツプログラマー・アシスタントマネジャーとして、富山県内小中学校・スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブにてスポーツの推進に貢献した功績は誠に顕著である。また、地域の施設等で小中学生の相撲指導や競技選手の育成指導に携わり、相撲競技の普及発展および競技力強化に尽力した。
氏名	牧田 稔 (マキタ ミノル)
資格名	剣道コーチ1
主な功績	永年にわたり、富山県剣道連盟会長等を務め、剣道競技の普及発展及び競技力強化に積極的に取り組んでおり、組織運営に貢献した功績は誠に顕著である。また、地域の学校・施設等で小中高中生や一般の剣道指導や競技選手の育成指導に携わり、剣道競技の普及発展および競技力強化に尽力した。
氏名	原 学 (ハラ マナブ)
資格名	ウエイトリフティングコーチ3
主な功績	永年にわたり、富山県ウエイトリフティング協会理事・強化部長を務め、ウエイトリフティング競技の普及発展および競技力強化に積極的に取り組んでおり、組織運営に貢献した功績は誠に顕著である。また、高等学校で監督・顧問として選手への育成指導・競技力強化に携わり、ウエイトリフティング競技の発展に尽力した。

氏名	犬島 宗男 (イヌジマ ムネオ)
資格名	ボウリングコーチ1
主な功績	永年にわたり、全日本ボウリング協会理事・富山県ボウリング連盟理事長を務め、ボウリング競技の普及発展および競技力強化に積極的に取り組んでおり、組織運営に貢献した功績は誠に顕著である。また、国民体育大会少年男子・女子、成年男子ボウリング競技選手の育成指導・競技力強化に携わり、ボウリング競技の発展に尽力した。
氏名	牧野 裕子 (マキノ ユウコ)
資格名	馬術コーチ3
主な功績	永年にわたり、富山県馬術連盟理事を務め、馬術競技の普及発展および競技力強化に積極的に取り組んでおり、組織運営に貢献した功績は誠に顕著である。また、国民体育大会の監督や地域の施設等において、馬術競技選手への育成指導・競技力強化に携わり、馬術競技の発展に尽力した。

推薦団体：公益財団法人 石川県スポーツ協会

氏名	高柳 陽一 (タカヤナギ ヨウイチ)
資格名	銃剣道コーチ2
主な功績	永年にわたり、地域における銃剣道指導に携わり、2008年に石川県の国民体育大会少年監督として銃剣道少年指導の普及発展に携わり、第64回国民体育大会(新潟県)少年男子6位に入賞を果たした。2018年から全日本銃剣道連盟の理事を務め、2022年に石川県銃剣道連盟理事長に就任して組織運営に携わり、その功績は誠に顕著である。
氏名	竹田 芳幸 (タケダ ヨシユキ)
資格名	剣道コーチ1
主な功績	石川県剣道連盟審査委員会委員を務め、剣道の普及振興に尽力している。また、地元かほく市において永年小学生・中学生の指導育成に取り組んでいるほか、自らも稽古に日々精進している。その功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 福井県スポーツ協会

氏名	木下 喜美 (キノシタ ヨシミ)
資格名	水泳コーチ1、エアロビックコーチ1
主な功績	1986年から現在に至るまで、小学生・中学生・高校生・一般を対象に水泳の指導を行っている。第73回国民体育大会(福井県)では、水泳競技会(アーティスティックスイミング)の開催に携わった中心的人物でもある。2020年からは福井県スポーツ協会理事、2021年からは福井県水泳連盟副会長として、水泳のみならず福井県内全体のスポーツの組織発展へ貢献している。
氏名	小島 甚作 (コジマ ジンサク)
資格名	銃剣道コーチ1、アシスタントマネージャー
主な功績	1980年から現在に至るまで、小学生・中学生・高校生・一般を対象に銃剣道の指導を行っており、1989年からは福井県立武道館武道学園銃剣道講師も務めている。また、これまでに福井県銃剣道連盟の理事・副理事長・事務局長を歴任し、福井県銃剣道連盟を発展期から支え続け、銃剣道の普及と発展を担われた中心的人物である。
氏名	杉田 勝 (スギタ マサル)
資格名	ジュニアスポーツ指導員
主な功績	1992年から現在に至るまで、福井県敦賀市のスポーツ少年団指導者として、軟式野球の指導を通して青少年の心身の健全育成に携わっている。また、2005年から2021年までは福井県スポーツ少年団本部役員、福井県スポーツ少年団指導者協議会会長として県内スポーツ少年団の組織発展や県内スポーツ少年団指導者の育成等へも携わり、その功績は誠に顕著である。
氏名	北 勝美 (キタ カツミ)
資格名	ボウリングコーチ1
主な功績	2004年から現在に至るまで、小学生・中学生・高校生・一般・障害者・競技者全般を対象にボウリングの指導を行っている。また、1994年からは福井県ボウリング連盟の事務局長・副理事長および北信越地区ボウリング連合理事を歴任し、現在も福井県ボウリング連盟の理事長を務め、ボウリングの普及や組織発展へ尽力し、その功績は誠に顕著である。

氏名	堀 豊 (ホリ ユタカ)
資格名	バレーボールコーチ 1
主な功績	1970年から現在に至るまで、中学生・高校生を対象にバレーボールの指導を行っている。福井工業大学附属福井高等学校男子バレーボール部顧問時には、日本代表選手をはじめとする有望選手を多数輩出した。また、これまでに福井県バレーボール協会強化部長、強化本部副本部長を歴任し、国民体育大会をはじめ各種別の全国大会において福井県チームの活躍に大きく貢献した。

推薦団体：公益財団法人 静岡県スポーツ協会

氏名	高部 正光 (タカベ マサミツ)
資格名	ボートコーチ 1
主な功績	1990年以降、小中高年代のボート競技の初期指導にあたり、多くの愛好者、選手を育成してきた。特に小学生の指導では、スポーツ少年団やボート教室において年間延べ200名を超える受講者があり、国民体育大会、全国高等学校総合体育大会における優勝者も輩出している。静岡県ボート協会、浜松市ボート協会の理事を永く務め、地元天竜で1990年に開催された第1回全国高等学校選抜ボート大会は立ち上げ時から携わるなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	川口 雅司 (カワグチ マサシ)
資格名	陸上競技コーチ 3
主な功績	静岡陸上競技協会の理事を務め、現在は常任理事を務めている。2014年から7年間、静岡県高等学校体育連盟陸上競技専門部委員長を務めた。自高校の指導者としてはインターハイ入賞者を数多く輩出している。また、地元小中学生のクラブにも6年間指導者として陸上競技の普及活動に努めるなど、永年にわたり優れた指導力を発揮している。それらの功績により、静岡陸上競技協会および日本陸上競技連盟から優秀指導者表彰を受けている。
氏名	望月 勇志 (モチヅキ ユウジ)
資格名	陸上競技コーチ 3
主な功績	静岡陸上競技協会の理事を務め、現在は常任理事を務めている。2009年から5年間、静岡県高等学校体育連盟陸上競技専門部委員長を務めた。同協会では、1992年から6年間、強化委員会短距離主任として国民体育大会代表をはじめ県内短距離トップ選手の強化に努めた。自高校の指導者としてはインターハイ入賞者を多く輩出している。それらの功績により、静岡陸上競技協会、日本陸上競技連盟、静岡市スポーツ協会から優秀指導者表彰を受けている。

推薦団体：公益財団法人 愛知県スポーツ協会

氏名	織田 智治 (オダ トモハル)
資格名	ソフトボールコーチ 1
主な功績	1986年から、地域クラブチームのコーチ・監督・代表、一般男子の監督としてソフトボール競技の普及・強化に尽力してきた。また、1996年から一色町ソフトボール協会・西尾市ソフトボール協会・西尾市体育（スポーツ）協会・愛知県ソフトボール協会等の役員を務め、ソフトボール競技の普及・競技力向上、組織の充実・発展に大いに尽力するなどスポーツ振興に貢献しており、その功績は多大である。
氏名	岡村 幸枝 (オカムラ サチエ)
資格名	アスレティックトレーナー
主な功績	アスレティックトレーナーとして、愛知県内の競技スポーツチーム、大学や高校の部活動においてコンディショニングや競技力向上に関わる支援を、永年にわたり継続している。愛知県アスレティックトレーナー連絡協議会の運営を担当し、スポーツに取り組む県民への啓発、指導も行っており、愛知県のスポーツ界において果たした功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 三重県スポーツ協会

氏名	山羽 幸代 (ヤマハ サチヨ)
資格名	ソフトボールコーチ 1
主な功績	永年にわたり、伊勢度会ソフトボール協会の理事長を務め、少年および女性のソフトボールのチームづくりに尽力している。また、小学生女子ソフトボールチームを永年にわたって指導し、地域のスポーツの推進に努めている。その功績は誠に顕著である。

氏名	船岡 庄一 (フナオカ ショウイチ)
資格名	ジュニアスポーツ指導員
主な功績	地元である新居地区のスポーツ少年団の活性化に尽力するなど、永年にわたり地域スポーツに貢献し、2000年から2017年まで伊賀市(旧:上野市)でスポーツ少年団本部長を務めた。さらには、2005年から2022年まで三重県スポーツ少年団副本部長を務めるなど、その功績は顕著である。
氏名	宮田 真里枝 (ミヤタ マリエ)
資格名	エアロビックコーチ1
主な功績	1989年から津市でトレーニング指導者として活動し、1996年からはエアロビックのインストラクターとして活動している。現在も子どもから大人まで幅広い年齢層の方に指導を続けており、指導した選手が大会等で優秀な成績を取めるなど、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 岐阜県スポーツ協会

氏名	守屋 能高 (モリヤ ヨシタカ)
資格名	ソフトテニスコーチ1
主な功績	永年、岐阜県立岐阜農林高等学校・大垣農業高等学校顧問としてソフトテニス指導に携わり、全国高等学校総合体育大会や国民体育大会の県代表選手を輩出した功績は誠に顕著である。現在も、岐阜県ソフトテニス連盟の評議員を務めながら、総合型地域スポーツクラブ(スポーツクラブもとす)において、小中学生の指導に熱意を持って取り組んでおり、ソフトテニスの普及に大きく貢献している。
氏名	宗宮 次男 (ソウミヤ ツギオ)
資格名	バレーボールコーチ1
主な功績	西濃支部バレーボール協会の役員として永年、協会運営に携わってきた。特に高校女子チームの監督を務め、優秀な成績を取めている。また、ヤングクラブ連盟所属の西濃ジュニアチームを設立して、学生へのバレーボールの指導を積極的に行い、社会人で活躍する選手及び指導者の育成・普及に貢献しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	桑原 信治 (クワバラ ノブハル)
資格名	バレーボールコーチ1
主な功績	岐阜県バレーボール協会の役員として、永年にわたり、協会運営に携わってきた。特に東海大学バレーボール連盟ではこれまで数多くの大会の役員として計画・準備・運営を行い、成功に導いた。また、監督経験も豊富で、学生や社会人で活躍する選手および指導者の育成・普及に貢献しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	阪上 哲也 (サカガミ テツヤ)
資格名	ソフトボールコーチ1
主な功績	岐阜県ソフトボール協会の理事をはじめ、恵那市ソフトボール協会の理事長、会長を歴任し、協会運営に多大な功績を残した。また、少年団の育成・指導にも携わり、現在では県民スポーツ大会の恵那市代表チームの指導者として活躍している。
氏名	平田 島子 (ヒラタ シマコ)
資格名	バドミントンコーチ1
主な功績	地元の可茂地区や岐阜県レディースバドミントン連盟指導委員長として選手の指導を行うとともに、岐阜県バドミントン協会競技副委員長としてバドミントン競技の普及拡大に多大な貢献しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	臼井 俊範 (ウスイ トシノリ)
資格名	新体操コーチ4マスター
主な功績	永年にわたり、岐阜県体操協会理事、岐阜県スポーツ協会評議員、東海体操協会理事と多くの役職を兼任し、どの役職においても各団体に多大な貢献をした。また、総合型地域スポーツクラブ(NPO総合体操クラブ)の経営者兼指導者として岐阜県および全国の体操競技、新体操の普及発展に貢献している。
氏名	吉田 裕之 (ヨシダ ヒロユキ)
資格名	馬術コーチ3
主な功績	乗馬クラブの指導者として、永年にわたり、ジュニア選手の指導に携わり、馬術の競技力向上に尽力している。全日本ジュニア選手権での優勝をはじめ、第67回国民体育大会(岐阜県)では岐阜県馬術選手団を総合優勝に導くなど、全国大会で活躍する選手を多数輩出した功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 滋賀県スポーツ協会

氏名	寺村 大佑 (テラムラ ダイスケ)
資格名	銃剣道コーチ1
主な功績	2003年以来少年指導にあたり、第58回国民体育大会(静岡県)銃剣道競技会に少年種別の監督として出場し8位入賞を果たした。その後、選手兼指導者として各種大会に参加し、良好な成績を獲得するとともに指導者として後輩会員の育成に努めた。2018年に滋賀県銃剣道連盟の事務局長に就任以来、各種強化合宿の企画等により選手強化に尽力し、競技力向上を図っており、国民体育大会の少年種別において第69回大会(長崎県)4位、第72回大会(愛媛県)2位に入賞させる原動力となるなど、同連盟に多大なる貢献を果たしている。
氏名	三谷 智美 (ミタニ トモミ)
資格名	銃剣道コーチ1
主な功績	2006年滋賀県銃剣道連盟理事に就任以来、選手兼指導者として各種大会に参加し、良好な成績を獲得するとともに、指導者として後輩会員の育成に努めた。2010年に同連盟の審査部長に就任以来、競技力向上における基本・応用技の重要性を認識し、特に基本技を重視した指導により競技力を向上させ多くの高段者を輩出するなど、同連盟に多大なる貢献を果たしている。
氏名	井上 亮一 (イノウエ リョウイチ)
資格名	バレーボールコーチ1
主な功績	永年にわたり、指導者としてバレーボール競技に携わり、社会人チームの選手育成・強化・啓発・普及振興に努める。指導力については、過去に社会人バレーボールの全国大会に導いたこともある。1980年から2021年まで指導の現場で活躍し、現在は、滋賀県スポーツ指導者協議会理事(現在副会長)として、滋賀県の指導者の環境を整えようと努めている。

推薦団体：公益財団法人 京都府スポーツ協会

氏名	荒賀 正孝 (アラガ マサタカ)
資格名	空手道コーチ4マスター
主な功績	永年にわたり、京都府空手道連盟の理事として空手道の意義を深く理解し、精神努力し亀岡市空手道連盟の結成を推進、同連盟の円滑な運営に寄与した。さらに、第32回オリンピック競技大会(2020/東京)で銅メダルを獲得した荒賀龍太郎選手をはじめ多数の世界チャンピオンを指導するとともに、同連盟の組織改革を行いその充実発展に深く貢献した。

推薦団体：公益財団法人 大阪府スポーツ協会

氏名	福井 規夫 (フクイ ノリオ)
資格名	テニスコーチ4マスター
主な功績	永年にわたり、大阪府で各テニススクールのコーチとしてテニス競技の普及・推進に尽力している。大阪府テニス協会の要職を歴任し、2010年から副理事長に就任するとともに、強化本部長も務め、大阪府下のジュニア強化育成とテニスの普及・発展に寄与しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	藤川 毅 (フジカワ タケシ)
資格名	アーチェリーコーチ3
主な功績	永年にわたり、大阪府アーチェリー連盟の理事を務め、初心者から上級者まで幅広く指導育成及び組織の運営、発展に尽力し、その功績は誠に顕著である。指導した選手には、全日本選手権・国民体育大会・全日本学生選手権・全国高等学校総合体育大会等で優勝経験を持つ者を多数輩出し、オリンピック選手も輩出している。2021年から現在に至るまで全日本アーチェリー連盟の理事を務め、アーチェリー界のさらなる発展と普及に尽力している。

推薦団体：公益財団法人 兵庫県スポーツ協会

氏名	古澤 多香子 (フルサワ タカコ)
資格名	バドミントンコーチ1
主な功績	神戸市バドミントン協会開催の大会運営を積極的に行うとともに、傘下の婦人連盟では、会長兼事務局として、平日開催の大会実施に大きく貢献した。また、神戸市内の各区体育館で開催されているバドミントン教室の交流大会を企画・実施し、教室間の指導者および受講生の親睦・交流・情報交換を深めた。

氏名	齋藤 直喜 (サイトウ ナオキ)
資格名	テニスコーチ2、ジュニアスポーツ指導員
主な功績	永年にわたり、テニス指導者として、テニスの普及・振興・技術向上を図るために、社会人のテニス教室を毎年行い、テニス人口の増加に貢献した。特に、ジュニア育成のために、テニス指導を週2回以上(冬季は小学校の体育館)行い、スポーツ精神の涵養に努めている。テニス大会の開催に当たっては、運営委員長として、大いに貢献した。
氏名	南谷 昌宏 (ミナミタニ マサヒロ)
資格名	水泳コーチ2
主な功績	1985年から中学校水泳部顧問、兵庫県水泳連盟役員として37年間競泳選手の育成に取り組んだ。この間、競技力向上に取り組み、全国中学校体育大会、国民体育大会に多くの選手を輩出し、明石市立望海中学校で指導した小西杏奈選手が第32回オリンピック競技大会(2020/東京)日本代表として出場し、活躍した。また、1993年の第33回全国中学校水泳競技大会神戸大会を機に、兵庫県中学校強化合宿を企画するなど永年にわたり県内選手の競技力向上に尽力した。
氏名	藤枝 重之 (フジエダ シゲユキ)
資格名	バレーボールコーチ2、バウンドテニスコーチ1、テニスコーチ1、スポーツプログラマー
主な功績	永年にわたり、スポーツ推進委員(旧・体育指導委員)として様々なスポーツの指導に従事している。同時に、小野市バレーボール協会、小野市体育協会、兵庫県オリエンタリング協会等の理事等を永年務め、2017年に兵庫県体育協会から体育功労賞を受賞した。また、兵庫県バウンドテニス協会では理事を永年務めて組織強化に尽力している。
氏名	難波 靖通 (ナンバ ヤスミチ)
資格名	バレーボールコーチ1
主な功績	1992年から地域においてバレーボールの指導にあたった。2006年に第4代福崎町体育協会会長に就任した。また、同年から2期4年間神崎郡体育協会会長として郡のスポーツ振興に寄与した。1974年の福崎町バレーボール協会設立に参画し、41年間バレーボールの指導育成・普及発展に貢献した。2002年の地域総合型スポーツクラブ「八千種スポーツクラブ」の設立においても尽力し、地域住民のスポーツ活動に大きく貢献し、その功績は誠に顕著である。
氏名	嶺尾 桂子 (ミネオ ケイコ)
資格名	テニスコーチ3
主な功績	神戸市、明石市、三木市のテニスクラブで指導にあたった。また、関西テニス協会や兵庫県テニス協会の理事を務め、特にジュニア選手の育成に力を注いだ。さらに、日本女子テニス連盟兵庫県支部においても、理事・支部長を歴任し、女性へのテニス指導に多いに貢献した。それらの功績を称えられ、1998年に日本テニス協会功労賞、2002年には兵庫県体育協会功労賞を受賞している。

推薦団体：公益財団法人 奈良県スポーツ協会

氏名	河合 孝信 (カワイ タカノブ)
資格名	バレーボールコーチ1
主な功績	永年にわたり、小学生クラブバレーボールチームを指導し、全国小学生選手権大会優勝3回・準優勝4回・第3位2回、全国スポーツ少年団交流大会優勝1回、近畿選手権大会優勝7回に導くなど、優秀な実績を残した。また、奈良県バレーボール協会指導普及委員長を務め、奈良県における公認バレーボール指導員(現コーチ1)養成講習会の企画・運営に当たるなど、多くの指導員の育成に尽力し、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益社団法人 和歌山県体育協会

氏名	郭 一彦 (カク カズヒコ)
資格名	バレーボールコーチ1
主な功績	1985年から和歌山県バレーボール協会常任理事、1999年から同協会指導普及委員長として選手育成に取り組む。2007年から2009年には、女子中学生の英才教育を目的に日本バレーボール協会が開校した「貝塚ドリーム」の監督として、全日本選手の育成に取り組む。2017年から現在に至るまで、和歌山県バレーボール協会の副会長および強化委員長として選手の強化・育成に取り組んでいる。

推薦団体：公益財団法人 鳥取県スポーツ協会

氏名	坂根 康之 (サカネ ヤスユキ)
資格名	卓球コーチ3
主な功績	永年にわたり、鳥取県卓球連盟、倉吉市卓球協会の役員を務め、地元小中学生への卓球競技の普及・発展に大きく貢献した。また、その指導力は甚大で、選手からの人望も厚く、国民体育大会卓球競技における鳥取県成年男子監督も務めるなど選手育成・強化、競技力の向上にも尽力しており、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 岡山県スポーツ協会

氏名	福島 一夫 (フクシマ カズオ)
資格名	水泳コーチ1
主な功績	永年にわたり、岡山県水泳連盟の評議員として健全運営に尽力してきた。現在は地域スポーツの振興、推進に寄与しており、地域の安全水泳の普及にも携わり人材育成教育に尽力している。現在も現役指導者として競技の魅力を発信し続けており、その功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 広島県スポーツ協会

氏名	永田 和久 (ナガタ カズヒサ)
資格名	競泳コーチ4マスター、水泳上級教師
主な功績	広島県水泳連盟において、強化合宿でヘッドコーチを務めるなど永年選手育成に多大な尽力をしている。また国民体育大会では広島県選手を何度も優勝に導き、同大会における競技得点獲得に大いに貢献している。さらに、若手コーチの育成にも寄与しており、その功績は顕著である。
氏名	尾崎 清 (オザキ キヨシ)
資格名	バドミントンコーチ3
主な功績	1989年から2007年まで国民体育大会で成年男子の監督を務め、2002年からは広島県バドミントン協会強化委員長として、県内選手や指導者からの信頼も厚い。また、小中学生の指導にも深く携わり、1997年に美鈴が丘ジュニアバドミントンクラブを創設し、全国大会・中国地区大会において入賞者を多数輩出している。現在は、広島県バドミントン協会副理事長と強化委員長を兼務し、協会運営と競技力向上に貢献している。
氏名	萩野 和男 (オギノ カズオ)
資格名	ボウリングコーチ3
主な功績	永年にわたり、広島県ボウリング連盟の理事長を務め、2006年から2020年は中国地区連合会長として全日本ボウリング協会理事を務め、ボウリング競技の普及発展に尽力している。また、国民体育大会で監督を務めるなど、成年選手強化、ジュニア選手育成強化に携わっており、その功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 山口県体育協会

氏名	大坪 秀樹 (オオツボ ヒデキ)
資格名	競泳コーチ3、水泳上級教師
主な功績	永年にわたり、山口県水泳連盟、宇部市水泳連盟の役員を歴任し、組織の運営・充実に尽力した。特に指導者として障害者水泳、運動部活動、地域における学童水泳教室の指導に携わるとともに、山口県障害者水泳連絡協議会の組織化にも努め、県および地域における水泳競技の普及・振興に貢献した功績は誠に顕著である。
氏名	杉山 雅博 (スギヤマ マサヒロ)
資格名	弓道コーチ1
主な功績	第66回国民体育大会(山口県)の選手強化のため山口県競技力向上対策委員や山口県弓道連盟理事に就任以来、永年コーチ・監督として指導にあたり、同大会での弓道競技天皇杯獲得をはじめとして多くの国民体育大会での競技得点獲得に貢献してきた。また、2010年から宇部および山陽小野田地区弓道連盟会長として弓道教室の運営に携わるなど、山口県における弓道競技の普及・振興に貢献した功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 香川県スポーツ協会

氏名	横田 稔 (ヨコタ ミノル)
資格名	空手道コーチ4マスター
主な功績	1987年に香川県空手道連盟の理事に就任以来、高松地区において空手道の指導や普及を行い、国民体育大会の出場選手を数多く輩出するとともに、指導者養成にも努めている。現在も、香川県空手道連盟の理事長を務め、大会運営等に力を発揮している。
氏名	佐藤 秀哉 (サトウ ヒデヤ)
資格名	ソフトボールコーチ1
主な功績	1992年から高校の指導者として、チームを全国高等学校選抜大会、全国高等学校総合体育大会、国民体育大会へ出場させ、現在まで、香川県高等学校体育連盟のソフトボール専門部の委員長を務めながら、全国の上位入賞や連続出場を成し遂げている。また、その間、香川県ソフトボール協会が主催する講習会に講師として参加し、小・中学生を中心に底辺の拡大や選手育成に努めるなど、ソフトボール競技の普及にも貢献している。
氏名	槇本 賢二 (マキモト ケンジ)
資格名	競泳コーチ4
主な功績	永年にわたり、香川県水泳協会の強化に携わり、特に国民体育大会では、第46回大会から第77回大会まで監督を務めるなど、23回の出場を数え、香川県の水泳競技の成績向上に尽力した功績は、誠に顕著である。
氏名	松本 和子 (マツモト カズコ)
資格名	陸上競技コーチ1、アスレティックトレーナー
主な功績	永年にわたり、香川県のスポーツ選手の競技生活をサポートしている。これまで、日本陸上競技連盟医事委員会のトレーナーとして、第11回IAAF世界陸上競技選手権大阪大会、東京2020パラリンピック競技大会、日本陸上競技選手権大会等トレーナーブースで活動した経験を活かし、現在は、県内の陸上競技大会において積極的な活動を行っている。また、香川県アスレティックトレーナー協議会の一員として協議会発展に大きく貢献している。

推薦団体：公益財団法人 徳島県スポーツ協会

氏名	芳村 伸 (ヨシムラ ノボル)
資格名	水泳コーチ1
主な功績	永年にわたり、徳島県水泳連盟の理事を務め、水球競技の競技力向上委員長などを歴任、第48回国民体育大会(徳島県・香川県)では徳島県水球チームの監督として活躍した。また、小学生から高校生にいたるまで、水球競技の普及と競技力の向上に力を注ぎ、現在の徳島県水球競技の発展を支えている。その功績は誠に顕著である。
氏名	宮 正嗣 (ミヤ マサツグ)
資格名	空手道コーチ4
主な功績	永年にわたり、徳島県空手道連盟の役員として運営に携わり、組織を飛躍的に向上させた功績は特筆すべきものがある。また、その豊富な経験と誠実な人柄をもって、後進の指導と育成にあたりるとともに、人望も厚く、当連盟における模範となっている。
氏名	都築 吉則 (ツヅキ ヨシノリ)
資格名	ラグビーフットボールコーチ4
主な功績	徳島県ラグビーフットボール協会の理事を務めながら、県立高校教員として赴任校のラグビー部や、徳島県・四国選抜チームの競技力向上や競技の普及・振興を目指し、永年にわたって指導してきた。その功績は誠に顕著である。
氏名	三岡 秀範 (ミツオカ ヒデノリ)
資格名	弓道コーチ1
主な功績	永年にわたり、徳島県弓道連盟の会計理事として、同連盟の運営と弓道の普及に貢献してきた。会計理事退任後も理事として同連盟を支えており、その功績は誠に顕著である。また、1995年から徳島県弓道連盟の指導者と地連審査の審査員としても活躍しており、会員の資質の向上に力を注いでいる。

推薦団体：公益財団法人 愛媛県スポーツ協会

氏名	井上 祥（イノウエ アキラ）
資格名	卓球コーチ3
主な功績	永年にわたり、卓球競技の指導者（実業団、中学生）として選手の育成強化に取り組むとともに、愛媛県卓球協会の理事として組織運営の充実発展に多大な効果を上げた。特に、第72回国民体育大会（愛媛県）を目指す中で男子実業団チームの設立に尽力し、愛媛県卓球競技のレベルアップ、普及、振興に貢献しており、今後一層の活躍が期待される。
氏名	華岡 敏正（ハナオカ トシマサ）
資格名	空手道コーチ2
主な功績	永年にわたり、地域や愛媛県における空手道指導、また地元中学校での授業として1988年から1992年まで空手道指導、2003年、2008年には愛媛県高等学校体育連盟空手道部の指導も行った。その他、愛媛県空手道連盟の常任理事、指導部長にも就任し、愛媛県の競技力向上等に貢献、また、地元四国中央市空手道協会を組織化することにも尽力し、2006年から現在に至るまで会長を務めている。さらには、全国の選手を強化（全国強化委員）を1978年から行っている。
氏名	山根 テル子（ヤマネ テルコ）
資格名	陸上競技コーチ4、スポーツプログラマー
主な功績	永年にわたり、中学、高校、大学の陸上競技部の顧問を務め、高校新記録を樹立する選手や、全国入賞する選手を数多く輩出した。第18回オリンピック競技大会（1964／東京）では、短距離コーチのアシスタントを務めた。その後、東京でVIVID陸上クラブを設立し、中学生、高校生、大学生の指導を10年間行った後、故郷の四国中央市において各種スポーツの土台作りを目的とし、新たにVIVID陸上クラブを2009年に設立し、現在に至るまで小学生から中学生の選手たちを指導している。
氏名	石丸 靖（イシマル ヤスシ）
資格名	バレーボールコーチ1
主な功績	永年にわたり、バレーボール競技の指導者（中学校部活動）として活躍し、全日本中学校バレーボール選手権大会に6度導くなど、愛媛県中学生の競技力の向上に貢献をしてきた。また、1997年以降25年間にわたり、愛媛県バレーボール協会の常任理事を継続して務め、この間に理事長や副会長として組織を牽引し、その発展に大きく寄与している。
氏名	白石 宗久（シライシ ムネヒサ）
資格名	バレーボールコーチ1
主な功績	永年にわたり、バレーボール競技の指導者（地域）として活躍している。新居浜市バレーボール協会副会長に就任し、協会の組織充実・発展に多大の貢献をしている。また、新居浜市体育振興会会長として、バドミントンをはじめ地域スポーツの発展に尽力している。
氏名	武田 英喜（タケタ ヒデキ）
資格名	ソフトボールコーチ2、アシスタントマネージャー
主な功績	永年にわたり、スポーツの指導者育成及び組織化に尽力している。また、スポーツ少年団ソフトボールの指導者および広見中学校軟式野球部の外部講師を務め、スポーツ少年団では第30回全日本小学生ソフトボール大会（栃木県）優勝、部活動では第70回、第71回愛媛県中学校総合体育大会優勝に導くなど、顕著な功績が認められる。

推薦団体：公益財団法人 高知県スポーツ協会

氏名	川田 勲（カワタ イサオ）
資格名	ジュニアスポーツ指導員
主な功績	1990年から現在に至るまで、現在の香南市において「香南ジュニアテニスクラブスポーツ少年団」を立ち上げ、子供たちの指導に尽力している。また、香南市スポーツ少年団本部長や高知県スポーツ少年団本部長、高知県スポーツ少年団名誉本部長を歴任しており、現在でもスタートコーチ（スポーツ少年団）インストラクターとして、高知県の指導者の育成に寄与するなど、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 福岡県スポーツ協会

氏名	吉田 達正 (ヨシダ タツマサ)
資格名	テニスコーチ4マスター、テニス上級教師マスター
主な功績	福岡県テニス協会等のジュニア委員長、重ねて同協会の理事、常務理事を歴任し、福岡県のジュニアの普及、育成、強化及び同協会の活動、運営に尽力し続けてきた。高いリーダーシップを発揮し、県内各地の選手・指導者・コーチとの良好なネットワークを構築し、九州地域全体のレベルアップにも寄与している。その功績は大きく評価され福岡県スポーツ協会から表彰を受けており、今後も活躍が期待される。
氏名	佐竹 養一 (サタケ ヨウイチ)
資格名	バドミントンコーチ1
主な功績	1992年から福岡県バドミントン協会の理事に就任し、以降副理事長、理事長を歴任してきた。さらに、九州バドミントン連盟理事長および日本バドミントン協会理事に就任。2011年から福岡県体育協会(現福岡県スポーツ協会)理事として福岡県の競技の発展、普及振興に大きく貢献している。また、指導者として中学生から社会人まで幅広く指導の場を持ち、バドミントンコーチ1養成講習会講師を務めるなど、精力的に活動しており、今後も活躍が期待される。
氏名	川口 正明 (カワグチ マサアキ)
資格名	卓球コーチ2
主な功績	永年にわたり、久留米市卓球協会会長、福岡県卓球協会副会長等の要職を歴任。他の模範となる卓球に対する知識・技術を活かし久留米市及び福岡県における卓球の普及発展と卓球協会の組織強化に尽力した。その功績が評価され、スポーツ庁や福岡県スポーツ協会から功労者として表彰を受けており、今後も活躍が期待される。
氏名	魚島 一彦 (ウオシマ カズヒコ)
資格名	陸上競技コーチ1
主な功績	1996年から小・中学生を対象として指導をはじめ、現在も陸上教室にて指導を継続し競技指導のみならず、福岡陸上競技協会の普及委員として普及振興活動に取り組んでいる。その活動が評価され様々な団体から功労者として表彰も受けており、今後も活躍が期待される。
氏名	永吉 加代子 (ナガヨシ カヨコ)
資格名	弓道コーチ1
主な功績	1988年から福岡県須恵町の弓道部部长、会長を務め、競技力向上に尽力している。さらに福岡県弓道連盟理事を経て現在は会長及び全九州弓道連盟連合会理事として、永年にわたり福岡県弓道連盟の運営に携わり、振興活動、組織強化に取り組んでおり、その功績は誠に顕著である。また、大学・高校の部活動や、地域における指導も継続しており今後も活躍が期待される。
氏名	清水 孝 (シミズ タカシ)
資格名	卓球コーチ1
主な功績	1981年から福岡市卓球協会の理事として、技術力の向上と組織の充実に尽力しており、福岡県卓球協会の理事も歴任している。第45回国民体育大会(福岡県)の卓球競技役員として競技会の成功に貢献し、指導者としても強化部で主に中学生を指導、選手育成に携わり、今後も活躍が期待される。
氏名	石森 隆司 (イシモリ タカシ)
資格名	ジュニアスポーツ指導員
主な功績	1973年から糟屋郡ソフトテニス協会の理事に就任し、1983年には久山町スポーツクラブの理事を歴任した。現在まで久山町ソフトテニス部長として地域におけるソフトテニス指導のみならず、福岡県ソフトテニス大会を久山町に誘致するなど、競技の普及振興活動に大きく貢献している。その功績が評価され糟屋郡スポーツ協会から功労者として表彰も受けており、今後も活躍が期待される。
氏名	原 憲一 (ハラ ケンイチ)
資格名	クラブマネジャー
主な功績	1975年から永年にわたり、北九州市立各中学校のサッカー部顧問指導に携わり、2001年にはニューウェーブ北九州(現ギラヴァンツ北九州)を組織化するなど、その功績は誠に顕著である。2018年から現在まで北九州市サッカー協会会長、福岡県サッカー協会副会長を歴任している他、様々な団体から功労者表彰を受けており今後も活躍が期待される。

氏名	成井 康子 (ナルイ ヤスコ)
資格名	卓球コーチ1
主な功績	1985年から現在まで永年にわたり、地域における卓球指導に尽力した。2012年から福岡県卓球協会の理事、2017年には北九州市卓球協会常任理事に就任し、組織強化、普及振興に大きく貢献した。その功績が評価され北九州市スポーツ協会から功労者表彰を受けるなど、現在も精力的に活動しており、今後の活躍も期待される。
氏名	山崎 憲治 (ヤマサキ ケンジ)
資格名	ジュニアスポーツ指導員
主な功績	2003年から現在まで若松サンシャインスポーツクラブを設立し、指導運営に尽力している。2006年には北九州市若松区の小学生を対象に運営指導を行い、北九州市部活動在り方検討委員会の委員、さらに北九州市スポーツ少年団企画事業部部長として精力的に活動している。その功績が評価され、様々な団体から功労者表彰を受けており、今後も活躍が期待される。

推薦団体：公益財団法人 佐賀県スポーツ協会

氏名	持丸 博紀 (モチマル ヒロキ)
資格名	ラグビーフットボールコーチ1
主な功績	永年にわたり、佐賀県ラグビーフットボール協会の理事、少年委員会委員長として県内の少年ラグビー普及・振興に尽力している。また、佐賀ジュニアラグビークラブで幼児や小学生の指導にあたるとともに、県少年委員会の運営に携わり基礎を築くなど少年ラグビーの発展及び競技力向上に大きく貢献し、その功績は誠に顕著である。現在も指導者として活動しており、今後も活躍が期待される。
氏名	濱村 宜弘 (ハナムラ ノブヒロ)
資格名	軟式野球コーチ3、ソフトボールコーチ1
主な功績	永年にわたり、佐賀県唐津市軟式野球連盟の学童部理事を務めるとともに、唐津市、佐賀県西北部、九州・山口地区における学童軟式野球交流大会の運営に携わり、大会の発展に貢献してきた。また、少年野球チームの監督として、選手指導に携わるなど、学童野球の普及・発展に対する功績は、誠に顕著である。
氏名	池田 憲治 (イケダ ケンジ)
資格名	陸上競技コーチ3
主な功績	永年にわたり地域の陸上教室や部活動における指導を通して、陸上競技に関心を持つ多くの選手の競技力向上や健全育成に努めた。また、一般愛好者の技術向上にむけた指導にも努めた。さらには、永年、佐賀県および唐津市の陸上競技協会に所属し、大会運営や審判に携わり、組織活動の充実に努め、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 長崎県スポーツ協会

氏名	塚本 喜勝 (ツカモト ヨシカツ)
資格名	水泳コーチ2
主な功績	長崎県水泳連盟副理事長、佐世保市水泳協会理事長、副会長を務め、永年にわたり水泳競技の普及・発展に寄与してきた。小中学生の指導や第19回長崎県ねんりんピック水泳交流大会、西海国立公園九十九島マスターズ大会の運営に携わり、両大会が長崎県に定着することに貢献するなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	安里 より子 (ヤサザト ヨリコ)
資格名	空手道コーチ3、ジュニアスポーツ指導員
主な功績	佐世保尚武館スポーツ少年団の指導、佐世保市スポーツ少年団指導者協議会の理事を務め、永年にわたり空手道競技の普及・発展、青少年の健全育成に寄与してきた。現在も長崎県内のスポーツ少年団活動への参加、指導などを行っており、その功績は誠に顕著であり、今後さらなる活躍が期待される。
氏名	吉田 惣治 (ヨシダ ソウジ)
資格名	ウエイトリフティングコーチ4
主な功績	長崎県・九州高等学校体育連盟専門委員長、全国高等学校体育連盟専門部副部長、長崎県ウエイトリフティング協会理事長を務め、永年にわたりウエイトリフティング競技の普及・発展に寄与してきた。長崎県スポーツ指導者協議会委員としてスポーツ振興に尽力し、現在も指導者としてウエイトリフティングの競技力向上に貢献しており、今後さらなる活躍が期待される。

氏名	徳永 清 (トクナガ キヨシ)
資格名	卓球コーチ2
主な功績	鳥原市卓球協会理事を務め、永年にわたり卓球競技の普及・発展に寄与してきた。鳥原市において、幅広い年代を対象に指導を行っており、青少年の健全育成や、ママさん卓球、町内対抗団体戦を立ち上げるなど地域活性化にも貢献しており、その功績は誠に顕著であり、今後さらなる活躍が期待される。

推薦団体：公益財団法人 大分県スポーツ協会

氏名	内田 三郎 (ウチダ サブロウ)
資格名	バレーボールコーチ1
主な功績	1982年から永年にわたり、小学生バレーボールジュニア育成に尽力し、大分県小学生バレーボール連盟理事長および大分県バレーボール協会副会長として指導普及・運営に携わった。その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 宮崎県スポーツ協会

氏名	房安 生二 (フサヤス セイジ)
資格名	陸上競技コーチ1
主な功績	宮崎県日南市において少年少女の陸上クラブを設立し、永年にわたり小学生への指導に尽力しており、宮崎県陸上競技の普及発展への功績は誠に顕著である。また、小学生への指導経験を生かし、指導者育成にも大きく貢献している。

氏名	山本 栄嗣 (ヤマモト エイジ)
資格名	空手道コーチ4
主な功績	宮崎県空手道連盟の選手強化部委員、副部長、部長として、国民体育大会や全日本空手道選手権大会での入賞者をはじめ、全国高等学校総合体育大会出場選手を育成するなど、宮崎県空手道における選手育成に大きく寄与するとともに、競技力向上に貢献している。

氏名	新名 賢次 (ニイナ ケンジ)
資格名	ソフトボールコーチ1
主な功績	1998年に広瀬ソフトボールスポーツ少年団にコーチとして就任後、38年間にわたりソフトボールの指導と普及に努めてきた。現在も指導者として、さらには宮崎県ソフトボール協会理事として組織育成にも努めており、ソフトボール競技の発展に尽力している。

氏名	大仁田 徳和 (オオニタ ノリカズ)
資格名	銃剣道コーチ1
主な功績	永年にわたり、銃剣道指導者として卓越した技量と指導力を持ち、選手(競技者)・指導者の育成に積極的に取り組むとともに、第47回国民体育大会(山形県)以降、連続12回にわたって宮崎県代表の監督として出場した。また、1992年からは宮崎県銃剣道連盟銃剣道・短剣道審判員指導員として審判員の育成に積極的に取り組んでおり、各種大会の運営にも大きく貢献している。

推薦団体：公益財団法人 鹿児島県スポーツ協会

氏名	西山 圭介 (ニシヤマ ケイスケ)
資格名	アスレティックトレーナー
主な功績	ハンドボール日本代表チームや実業団チームの帯同トレーナーとして選手のサポートや鹿児島県スポーツ協会のスポーツ医・科学委員会委員として競技団体への医・科学的なサポートに尽力してきた。2022年6月まで鹿児島県スポーツ協会アスレティックトレーナー協議会会長として協議会の運営に携わり、その功績は誠に顕著である。

氏名	濱園 卓郎 (ハマゾノ タクロウ)
資格名	水泳コーチ2、近代五種コーチ3
主な功績	永年鹿児島県水泳連盟の運営に携わり、2013年からは同連盟日本泳法委員長として、日本泳法の普及に努めてきた。また、鹿児島県高等学校体育連盟の一員として水泳の普及に努め、永年高校生を主体に指導をしており、鹿児島県の水泳界の発展に寄与してきた人物であり、その功績は誠に顕著である。また現在、鹿児島県スポーツ指導者協議会の常任委員として県内のスポーツ指導者育成に尽力している。

推薦団体：公益財団法人 沖縄県スポーツ協会

氏名	佐渡山 安武 (サドヤマ ヤスタケ)
資格名	ソフトボールコーチ 1
主な功績	1980年から現在に至るまで、永年スポーツ少年団の指導者として、安富祖スポーツ少年団でソフトボールの普及をしており、多くの国民体育大会等で活躍する選手を輩出するなど、指導者としての功績が顕著である。また、2018年には恩納村からスポーツ功労賞を受賞している。
氏名	友江 高夫 (トモエ タカオ)
資格名	ソフトボールコーチ 1
主な功績	1984年から現在に至るまで、スポーツ少年団、一般女子、シニアチームなど、様々な年代の方々に対し、ソフトボールの指導およびチームの監督を務めるなど、指導者として功績が顕著である。また、2014年には沖縄県ソフトボール協会から功労賞を受賞している。

●中央競技団体推薦

推薦団体：公益財団法人 日本陸上競技連盟

氏名	尾縣 貢 (オガタ ミツギ)
資格名	陸上競技コーチ 3
主な功績	陸上競技に関しては、理論的な業績はもとより、放送・活字メディア両面での活躍に特筆すべきものがある。加えて日本オリンピック委員会を始めとする組織での競技力向上に関しても、大きな実績を残してきた。組織の牽引役としての高い評価は現場で実証済みである。日本陸上競技連盟専務理事、現在は会長として重責を担っているのは衆人の知るところである。すでに2021年度秩父宮賞を受賞、日本陸上競技連盟の第1号永年表彰にふさわしい人士としてその功績は誠に顕著である。
氏名	麻場 一徳 (アサバ カズノリ)
資格名	陸上競技コーチ 4
主な功績	日本陸上競技連盟の強化委員長として強い個性と指導力が求められる役回りに就くと、冷静沈着で理にかなった判断、わかりやすく伝える話しぶりを武器に、粛々と事を運ぶ様子には組織の人間さえも舌を巻くほどであった。現役時代に培ったスプリントの実力を教育の世界で理論に置き換えた上で、長い時間をかけての競技力向上への貢献は他に比肩するものがない。秩父宮賞も受賞した実績は、誠に顕著である。
氏名	繁田 進 (シゲタ ススム)
資格名	陸上競技コーチ 4
主な功績	篤実な人柄、ユーモアを忘れない語り口など指導者としての実力は、深奥な知識とあくことのない探究心を奥にしまい込みながら、常に人を引きつけるその対応ぶりに現れている。混成競技の奥義を究めただけでなく、日本陸上競技連盟では普及委員長を永きにわたって務め、現在もなお指導者養成委員会特別委員として指導者資格講習の現場に立つ。2021年度、功績がたたえられ秩父宮賞を受賞した実績は、第1号永年表彰にふさわしい指導者である。

推薦団体：公益社団法人 日本ホッケー協会

氏名	馬場 治男 (ババ ハルオ)
資格名	ホッケーコーチ 4
主な功績	永年にわたり、中学生指導者として選手育成に貢献してきた。中学校の勤務の傍ら2007年から2019年に日本ホッケー協会中学校部会事務局長、2021年に日本ホッケー協会中学校部会会長、2009年から2022年には日本ホッケー協会理事にも就いている。また、日本ホッケー協会における中学組織運営も担い、ホッケーの発展に貢献し、その功績は誠に顕著である。
氏名	鯨井 暢 (クジライ トオル)
資格名	ホッケーコーチ 4
主な功績	永年にわたり、高校生指導者として選手育成に貢献してきた。2003年から2017年に全国高等学校体育連盟ホッケー専門部副部長として高等学校におけるホッケーの振興に尽力してきた。また、2015年からは埼玉ホッケー協会理事長も務めており、組織運営も担い協会発展に貢献し、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会

氏名	本郷 利夫 (ホンゴウ トシオ)
資格名	山岳コーチ2
主な功績	2018年から永年にわたり、東京都山岳連盟事務局次長、指導委員長を務める。指導者制度が山岳上級指導員(現山岳コーチ2)に移行以来、東京都における山岳指導者の育成を行ってきた。2018年からは指導委員長として、山岳指導者育成だけでなく、スポーツクライミングの指導者育成も積極的に行っている。また、安全登山に関する技術的な内容にも積極的に携わり、指導技術の確立や、夏山リーダー制度の創設にも積極的に参加するなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	大越 久嘉 (オオコシ ヒサヨシ)
資格名	山岳コーチ2、スポーツクライミングコーチ2
主な功績	2012年から永年にわたり、滋賀県山岳連盟の指導委員長を務める。現在も滋賀県山岳連盟指導委員長として、山岳およびスポーツクライミング指導者の育成を行っている。また、滋賀県における数多くの研修会や講習会に主催および講師として貢献している。さらには、滋賀県のみならず近畿ブロック内でも永年の指導経験を生かして活動しており、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益社団法人 日本カーリング協会

氏名	佐藤 真康 (サトウ マサヤス)
資格名	カーリングコーチ2
主な功績	1983年の帯広カーリング協会設立時から、広報および事務局を担当し、また、初代カーリングインストラクターとして、道内各地で指導に当たる。2008年に日本シニアカーリング選手権大会で初優勝して以来、世界シニア選手権大会に6度出場し、その技術と経験を若い世代に伝えてきた。2014年からは帯広カーリング協会会長として、ジュニアの育成に尽力しており、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益社団法人 日本エアロビック連盟

氏名	竹原 由利子 (タケハラ ユリコ)
資格名	エアロビックコーチ1
主な功績	35年以上の永きにわたり、エアロビック指導に携わり、長野県内を中心にスポーツクラブと公共施設にて、一般成人から高齢者を対象にエアロビックの普及に尽力してきた。松本エアロビクス協会での活動として協会主催のイベント開催運営にも寄与するなど、長野県のエアロビック振興に貢献した功績は多大である。

推薦団体：公益社団法人 日本ダンススポーツ連盟

氏名	金城 庸夫 (キンジョウ ツネオ)
資格名	ダンススポーツコーチ3
主な功績	永年にわたり、日本ダンススポーツ連盟の理事を務めつつ指導部の組織化と指導員制度の構築に携わった。また、ダンススポーツ医科学研究部長として、世界ダンススポーツ連盟が出版した「ダンススポーツ教本」の翻訳及びDVD作成に尽力するなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	溝口 稔 (ミゾグチ ミノル)
資格名	ダンススポーツコーチ3
主な功績	永年にわたり、日本ダンススポーツ連盟の理事を務めつつ、ジュニア育成部長としてジュニア選手の育成及びジュニア指導員制度の組織化と運営に尽力した。また、日本スポーツ協会の指導者養成講習会講師を務めるなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	鴻巣 久枝 (コウノス ヒサエ)
資格名	ダンススポーツコーチ3
主な功績	永年にわたり、日本ダンススポーツ連盟指導部の業務に携わり、指導員制度の組織化と運営に尽力した。また、2019年から日本スポーツ協会のコーチデベロッパーとして共通科目講習会の講師を務めるなど、その功績は誠に顕著である。

【表彰の基準 第1号】スポーツドクター 22名

公認スポーツドクターとして、資格認定後15年以上にわたり、スポーツの普及振興に尽力し、顕著な功績が認められた方。

推薦団体：公益財団法人 青森県スポーツ協会

氏名	富田 卓（トミタ タカシ）
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年にわたり、ラグビー競技を中心に青森県チーム帯同ドクター、競技会での会場ドクターを担当し、メディカルサポートおよび救護活動に従事してきた。青森県ラグビーフットボール協会では常任理事、医務委員長を務め、国際大会でもマッチドクターを数多く担当し、安全な競技会運営に尽力してきた。青森県スポーツドクターの会では理事として会の活動に携わり、スポーツドクターと競技団体およびスポーツ行政との円滑な連携に貢献した。

推薦団体：公益財団法人 山形県スポーツ協会

氏名	石井 政次（イシイ マサジ）
資格名	スポーツドクター
主な功績	2006年からスポーツドクターとして山形県のスポーツ医・科学の発展に寄与した。特に、陸上競技会における疾病者への対応や、国体選手の障害予防及びアンチ・ドーピング指導に積極的に取り組み、選手への医学的サポートに尽力している。また、山形県スポーツ協会のスポーツ医科学委員を永年務めるなど、山形県スポーツ医科学の普及・発展への功績は大きい。

推薦団体：公益財団法人 群馬県スポーツ協会

氏名	片山 雅義（カタヤマ マサヨシ）
資格名	スポーツドクター
主な功績	1998年から群馬県スポーツ協会の県民体力づくり相談事業のメディカルチェック、スポーツ医事相談事業等の事業に積極的に協力し、群馬県スポーツ選手の競技力向上に寄与している。また、2014年から群馬県スポーツドクター協議会幹事、2022年からスポーツ安全委員会委員長を務め、2016年からは国民体育大会帯同ドクターとして群馬県選手団のメディカルサポートに携わり、永年にわたり群馬県のスポーツ界発展のために貢献している。
氏名	道又 俊子（ミチマタ トシコ）
資格名	スポーツドクター
主な功績	1999年から群馬県スポーツ協会の県民体力づくり相談事業のメディカルチェック、スポーツ医事相談事業等の事業に積極的に協力し、群馬県スポーツ選手の競技力向上に寄与している。また、群馬県スポーツドクター協議会員として、群馬県のスポーツ界発展のために貢献している。
氏名	南 龍野（ミナミ タツヤ）
資格名	スポーツドクター
主な功績	2001年から群馬県スポーツ協会の県民体力づくり相談事業のメディカルチェック、スポーツ医事相談事業等の事業に積極的に協力し、群馬県スポーツ選手の競技力向上に寄与している。また、群馬県スポーツドクター協議会員として、群馬県のスポーツ界発展のために貢献している。

推薦団体：公益財団法人 石川県スポーツ協会

氏名	横浜 安生（ヨコハマ ヤスオ）
資格名	スポーツドクター
主な功績	2001年から、地域の開業医として学童、中高大学生のスポーツ外傷初期治療を行ってきた。2015年からは金沢マラソン救護所活動を行い、医療救護班として携わっている。また、2017年からの金沢学童野球肘検診にも参加し、検診の発展、維持に携わり、スポーツ障害予防にも注力しており、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 愛知県スポーツ協会

氏名	米田 忠正 (ヨネダ タダマサ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	1992年1月から現勤務先である米田病院において、愛知県内のスポーツ選手・愛好者に対し、スポーツ傷害・外傷に係る診療を行っている。また、スポーツドクター愛知県連絡協議会の会員として、愛知県スポーツにおける医科学サポート体制の構築に永く協力してきた功績は多大である。
氏名	廣岡 孝 (ヒロオカ タカシ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	2007年から現在に至るまで、愛知県における国民体育大会選手団への帯同を始め、県内各種競技大会における大会ドクターを務めるほか、講演活動等を行っている。また、スポーツドクター愛知県連絡協議会の会員として、愛知県スポーツにおける医科学サポート体制の構築に永く協力してきた功績は多大である。

推薦団体：公益財団法人 岐阜県スポーツ協会

氏名	西本 裕 (ニシモトユタカ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	スポーツドクターとして、永年、岐阜県のスポーツ指導者講習会の講師を務めるなど、スポーツ指導者の育成に寄与した。また運営面においても第67回国民体育大会(岐阜県)ボクシング競技会の医事委員長の責を果たし、2013年から岐阜県スポーツ協会の理事を務めるなど、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 滋賀県スポーツ協会

氏名	高橋 正行 (タカハシ マサユキ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年にわたり、滋賀県サッカー協会および滋賀陸上競技協会の医事委員を務め、両競技における医務活動に携わってきた。また、滋賀県体育協会(現スポーツ協会)や滋賀県競技力向上対策本部では、スポーツ医・科学委員会副委員長を務め、国民体育大会への帯同ドクターとしても尽力した。さらに、びわこ成蹊スポーツ大学サッカー部顧問として、全日本学生サッカー選手権大会3位の成績を収めるなど、スポーツ活動への功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 京都府スポーツ協会

氏名	古川 泰三 (フルカワ タイゾウ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年にわたり、公認スポーツドクターとして、京都府スポーツ協会の活動に尽力している。特に、第59回国民体育大会冬季大会(青森県・山形県)から第69回国民体育大会冬季大会(栃木県・山形県)において雪上・氷上競技問わず幅広い知識を生かし、京都府選手団をメディカル面からサポートした功績は、誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 愛媛県スポーツ協会

氏名	森 孝久 (モリ タカヒサ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年にわたり、スポーツドクターとしてスポーツ医・科学の発展に寄与した。特に、愛媛県スポーツドクター協議会会員として、スポーツ大会の医療救護に積極的に取り組むとともに、国民体育大会選手の健康診断に協力するなど、スポーツ医・科学サポートに尽力している。

推薦団体：公益財団法人 高知県スポーツ協会

氏名	廣瀬 大祐 (ヒロセ ダイスケ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	2018年から高知県スポーツ医・科学委員会の副委員長として、スポーツ医・科学の分野で手腕を発揮している。2022年度の役員改選でも引き続き副委員長に委嘱され、より一層の組織の充実と活動の活性化が期待される。また、2012年から高知県スポーツドクター協議会理事として活動し、第73回国民体育大会(福井県)・第74回国民体育大会(茨城県)の帯同ドクターを務めるなど、高知県のスポーツ活動に大きく寄与し、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 長崎県スポーツ協会

氏名	谷口 英樹 (タニグチ ヒデキ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	日本卓球協会スポーツ医・科学委員会委員や卓球競技を中心として長崎県民に対する健康相談や地域医療事業も行っており、永年にわたり幅広く活動をしている。特に卓球世界選手権において会場ドクターとして大会の成功に貢献した功績は誠に顕著であり、今後さらなる活躍が期待される。

推薦団体：公益財団法人 大分県スポーツ協会

氏名	中村 太郎 (ナカムラ タロウ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年にわたり、日本アンチ・ドーピング機構の「DCO (Doping Control Officer)」および「シニアDCO」としてアンチ・ドーピング活動に積極的に取り組んできた。また、スポーツドクターとして、パラリンピックのチームドクターや大分トリニータなど、国際大会から大分県内スポーツまで幅広く活動しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	中村 英次郎 (ナカムラ エイジロウ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	中村裕記念身体障害者福祉財団の理事を務め、パラスポーツの育成事業に尽力した。また、毎年大分国際車いすマラソン大会の医療スタッフとして活動し、東京2020パラリンピック競技大会の医療スタッフとして活動するなど、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 鹿児島県スポーツ協会

氏名	今給黎 亮 (イマキイレ アキラ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	スポーツドクターとして競技団体のサポートに永年尽力してきた。2018年の鹿児島県スポーツドクター・競技団体連絡会では講師を務め、国民体育大会ドクターズ・ミーティングの報告を行い、2020年度開催予定であった第75回国民体育大会(鹿児島)に向けたスポーツドクターの役割等についての理解を高めた。また、2020年に鹿児島県スポーツ協会スポーツドクター協議会功労者表彰を受賞しており、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 沖縄県スポーツ協会

氏名	城田 真一 (シロタ シンイチ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	スポーツドクターとして、沖縄県スポーツ協会スポーツ医・科学委員や国体選手のメディカルチェック、国民体育大会の帯同などで活躍し、永年沖縄県のスポーツ振興及び競技水準向上に貢献し、その功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 日本サッカー協会

氏名	加藤 晴康 (カトウ ハルヤス)
資格名	スポーツドクター
主な功績	日本サッカー協会の医学委員会を2008年から今日に至るまで務め、その間、公認指導者とともに育成年代の健康維持・増進に尽力をした。また現在は、サッカー日本代表(SAMURAI BLUE)の世話人ドクターとして、活動している。

推薦団体：公益財団法人 日本バレーボール協会

氏名	林 光俊 (ハヤシ ミットシ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	1989年から2020年まで男子日本代表チームの主任ドクターとして、オリンピック競技大会やバレーボール世界選手権、アジアバレーボール選手権に参加した。第32回オリンピック競技大会(2020/東京)では、有明アリーナ会場のバレーボール選手用医療統括を務めた。現在は、日本バレーボール協会ハイパフォーマンスサポート委員会メディカルユニット長として日本バレーボール界の医事関係において重要な役割を担っている。
氏名	和田 佑一 (ワダ ユウイチ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年にわたり、日本代表チームドクターとして遠征に帯同し、バレーボール障害の予防活動に尽力している。現在は配下ドクターの派遣に貢献するとともに、日本バレーボール協会ハイパフォーマンスサポート委員会メディカルユニットのメンバーとして障害・予防・研究の中心的な役割を担っている。
氏名	若林 良明 (ワカバヤシ ヨシアキ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年にわたり、バレーボール国際・国内大会の医事業務に従事し、2018-19年の国際大会では医事責任者、第32回オリンピック競技大会(2020/東京)ではバレーボール選手用医療統括補佐を務めた。2006年から選手の手指・神経障害における診療に従事し、男女Vリーグ計6チームから多数の選手を受け入れ診療した。2017年から日本バレーボール協会ハイパフォーマンスサポート委員会メディカルユニットのメンバーとして、医事運営や上肢外傷・障害に関する研究発表・講演会を多数行っている。

はしる、とび、あろう、その先へ。



未来を担う子ども
 スポーツは大きな貢献
 からだを動かすたのしさは、
 他者との関わりやルールへの
 達成のよろこびは努力の
 あたしたちは、スポーツに親しむ
 担い手になっていくまでの
 スポーツに親しめる社会の

たちの健全な育成に、
 ができると信じています。
 健康なからだを作り、
 学ぶは、社会性を育み、
 大切さを教えてくれます。
 子どもたちが未来を創る
 道のりを支え、あらゆる世代が
 実現を目指しています。

スポーツと、望む未来へ。



JSPO

Japan Sport Association

OFFICIAL PARTNERS



LOTTE



大塚製薬

セレスポ

時事通信



ニチバン



三井住友海上
MS&AD INSURANCE GROUP

日本文化出版

OFFICIAL SUPPLIERS



MIKASA



東武トップツアーズ



JTB

日本体育施設



PR TIMES

KEM
京都電子工業



Photo Create

【表彰の基準 第2号】 118名

公認スポーツ指導者として、競技力の向上に尽力し、前年度に開催されたオリンピック競技大会、アジア競技大会又はこれに準じる国際大会において、優秀な成績をあげた選手を育成指導された方。

推薦団体：公益財団法人 日本陸上競技連盟

氏名	塚田 美和子（ツカダ ミワコ）	資格名	陸上競技コーチ 3
指導選手名	高橋 和生		
大会名	第29回世界競歩チーム選手権	種目・成績	男子35km競歩団体 / 4位
主な功績	2022年に行われた第29回世界競歩チーム選手権において、団体第4位に輝いた高橋和生選手の高校時代の恩師であり競歩競技を同選手に薦めた指導者である。その功績は誠に顕著である。		
氏名	今村 文男（イマムラ フミオ）	資格名	陸上競技コーチ 3
指導選手名	高橋 和生		
大会名	第29回世界競歩チーム選手権	種目・成績	男子35km競歩団体 / 4位
主な功績	2022年に行われた第29回世界競歩チーム選手権において、団体第4位に輝いた高橋和生選手の実業団時代、日本陸上競技連盟や実業団主催の合宿にて直接指導を行った。その功績は誠に顕著である。		
氏名	照井 貴子（テルイ タカコ）	資格名	陸上競技コーチ 1
指導選手名	高橋 和生		
大会名	第29回世界競歩チーム選手権	種目・成績	男子35km競歩団体 / 4位
主な功績	2022年に行われた第29回世界競歩チーム選手権において、団体第4位に輝いた高橋和生選手の高校時代、全国高等学校総合体育大会や国民体育大会に向けた強化合宿で直接指導を行った。その功績は誠に顕著である。		
氏名	小坂 忠広（コサカ タダヒロ）	資格名	陸上競技コーチ 1
指導選手名	勝木 隼人		
大会名	第29回世界競歩チーム選手権	種目・成績	男子35km競歩団体 / 4位
主な功績	2022年に行われた第29回世界競歩チーム選手権において、団体第4位に輝いた勝木隼人選手の2014年から2020年までの約6年間、コーチとして指導を行った。その功績は誠に顕著である。		
氏名	平田 和光（ヒラタ カズミツ）	資格名	陸上競技コーチ 4
指導選手名	勝木 隼人		
大会名	第29回世界競歩チーム選手権	種目・成績	男子35km競歩団体 / 4位
主な功績	2022年に行われた第29回世界競歩チーム選手権において、団体第4位に輝いた勝木隼人選手の2015年から2020年までの約5年間、コーチとして指導を行った。その功績は誠に顕著である。		
氏名	新開 浩一（シンカイ コウイチ）	資格名	陸上競技コーチ 3
指導選手名	鶴田 玲美		
大会名	シレジア2021世界リレー	種目・成績	女子4×100mリレー / 4位
主な功績	2021年に行われたシレジア2021世界リレー陸上競技4×100mリレーにおいて、第4位に輝いた鶴田玲美選手の指導者である。その功績は誠に顕著である。		
氏名	柴田 博之（シバタ ヒロユキ）	資格名	陸上競技コーチ 3
指導選手名	宮本 大輔		
大会名	シレジア2021世界リレー	種目・成績	男子4×100mリレー / 2位
主な功績	2021年に行われたシレジア2021世界リレー陸上競技4×100mリレーにおいて、第2位に輝いた宮本大輔選手の高校時代の恩師である。その功績は誠に顕著である。		

氏名	藤田 昌彦 (フジタ マサヒコ)	資格名	陸上競技コーチ 4
指導選手名	宮本 大輔		
大会名	シレジア2021世界リレー	種目・成績	男子4×100mリレー / 2位
主な功績	2021年に行われたシレジア2021世界リレー陸上競技4×100mリレーにおいて、第2位に輝いた宮本大輔選手の中学時代の恩師である。その功績は誠に顕著である。		
氏名	本多 信之 (ホンダ ノブユキ)	資格名	陸上競技コーチ 1 コーチングアシスタント
指導選手名	宮本 大輔		
大会名	シレジア2021世界リレー	種目・成績	男子4×100mリレー / 2位
主な功績	2021年に行われたシレジア2021世界リレー陸上競技4×100mリレーにおいて、第2位に輝いた宮本大輔選手のスポーツ少年団時代の恩師である。その功績は誠に顕著である。		

推薦団体：公益財団法人 日本サッカー協会

氏名	井森 秀歩 (イモリ シュウホ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	吉田 麻也		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した吉田麻也選手を、名古屋グランパスエイト (U-15) にて2001年に指導し、選手の育成に貢献した。		
氏名	下平 隆宏 (シモタイラ タカヒロ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	中山 雄太		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した中山雄太選手を、柏レイソル (U-18) にて、2012年から2018年にわたり監督として指導し、選手の育成に貢献した。		
氏名	加藤 寿一 (カトウ トシカズ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	大迫 敬介		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した大迫敬介選手を、サンフレッチェ広島ユースにて2015年から2017年にわたり、ゴールキーパーコーチとして指導に携わり、選手の育成に貢献した。		
氏名	外池 大亮 (トノイケ ダイスケ)	資格名	サッカーコーチ 1
指導選手名	相馬 勇紀		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した相馬勇紀選手を、早稲田大学ア式蹴球部にて、2018年に指導をし、選手の育成に貢献した。		
氏名	鴨川 幸司 (カモガワ コウジ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	堂安 律、谷 晃生、林 大地		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した、堂安律選手、谷晃生選手、林大地選手を、ガンバ大阪ジュニアユース在籍期間中において指導に携わり、選手育成に貢献した。		
氏名	吉永 一明 (ヨシナガ カズアキ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	前田 大然		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した前田大然選手が、山梨学院大学附属高等学校在籍期間中の2013年から2015年に指導をし、選手育成に貢献した。		

氏名	吉田 達磨 (ヨシダ タツマ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	酒井 宏樹		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した酒井宏樹選手を、柏レイソルジュニアユース・柏レイソルU-15在籍期間中の2003年から2005年、柏レイソルU-18に在籍期間中の2008年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	吉田 宗弘 (ヨシダ モトヒロ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	谷 晃生		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した谷晃生選手を、ガンバ大阪ユースに在籍期間中の2016年にゴールキーパーコーチとして指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	京増 雅仁 (キョウソウ マサヒト)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	久保 建英		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した久保建英選手を、FC東京U-15むさしに在籍期間中の2015年から2016年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	慶越 雄二 (ケイゴシ ユウジ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	谷 晃生		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した谷晃生選手を、ガンバ大阪ユース在籍期間中の2017年から2018年に、ゴールキーパーコーチとして指導に携わり、選手育成に貢献した。		
氏名	古賀 聡 (コガ サトシ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	相馬 勇紀		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) U-24日本代表チームメンバーとして出場した相馬勇紀選手を、早稲田大学ア式蹴球部に在籍期間中の2015年から2017年の間、指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	後藤 静臣 (ゴトウ シズオミ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	板倉 滉、三好 康児、三笥 薫、田中 碧		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した板倉滉選手、三好康児選手、三笥薫選手、田中碧選手を指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	高橋 奨 (タカハシ ススム)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	遠藤 航		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した遠藤航選手を、横浜市立南戸塚中学校に在籍期間中の2006年から2007年に指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	高崎 康嗣 (タカサキ ヤスシ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	板倉 滉、三好 康児、三笥 薫、田中 碧、久保 建英		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した板倉滉選手、三好康児選手、三笥薫選手、田中碧選手、久保建英選手を指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	今野 章 (コンノ アキラ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	板倉 滉、三好 康児、三笥 薫、田中 碧		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した板倉滉選手、三好康児選手、三笥薫選手、田中碧選手を指導し、選手育成に貢献した。		

氏名	根本 清史 (ネモト キヨブミ)	資格名	サッカーコーチ 1
指導選手名	中山 雄太		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した中山雄太選手を、龍ヶ崎市立愛宕中学校に在籍した2008年から2009年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	佐渡谷 聡 (サドヤ サトシ)	資格名	サッカーコーチ 3 アシスタントマネジャー
指導選手名	大迫 敬介		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した大迫敬介選手を、FELICIDAD FC在籍期間中の2010年から2015年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	佐藤 一樹 (サトウ カズキ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	久保 建英		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した久保建英選手を、FC東京U-18に在籍期間中の2016年から2017年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	山本 信夫 (ヤマモト ノブオ)	資格名	サッカーコーチ 3
指導選手名	相馬 勇紀		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した相馬勇紀選手を、三菱養和サッカークラブユースに在籍期間中の2012年から2014年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	小井土 正亮 (コイド マサアキ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	三笥 薫		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した三笥薫選手を、筑波大学蹴球部に在籍期間中の2016年4月から2019年12月に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	松代 直樹 (マツヨ ナオキ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	谷 晃生		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した谷晃生選手を、ガンバ大阪ジュニアユースに在籍期間中の2013年から2015年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	森 一哉 (モリ カズヤ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	板倉 滉、三好 康児		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した板倉滉選手、三好康児選手を指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	神戸 清雄 (カンベ スガオ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	吉田 麻也		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した吉田麻也選手を、名古屋グランパスエイト (U-18) に在籍期間中の2005年から2006年に指導し、選手育成に貢献した。		

氏名	川口 修 (カワグチ オサム)	資格名	サッカーコーチ 3
指導選手名	旗手 怜央		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した旗手怜央選手を、静岡学園高等学校に在籍期間中の2013年から2015年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	浅野 哲也 (アサノ テツヤ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	遠藤 航		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した遠藤航選手を、湘南ベルマーレユースに在籍期間中の2007年から2009年の間、指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	倉持 行一 (クラモチ コウイチ)	資格名	サッカーコーチ 1
指導選手名	酒井 宏樹		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した酒井宏樹選手を、柏マイティジュニアフットボールクラブおよび柏マイティフットボールクラブに在籍期間中の1996年から2002年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	村松 征二郎 (ムラマツ セイジロウ)	資格名	サッカーコーチ 3
指導選手名	前田 大然		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した前田大然選手を、山梨学院大学附属高等学校に在籍期間中の2013年から2015年に指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	大橋 浩司 (オオハシ ヒロシ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	橋岡 大樹		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した橋岡大樹選手を、浦和レッドダイヤモンズジュニアユースに在籍期間中の2013年から2014年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	大槻 毅 (オオツキ ツヨシ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	橋岡 大樹		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した橋岡大樹選手を、浦和レッドダイヤモンズユースに在籍期間中の2015年から2017年に指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	大槻 邦雄 (オオツキ クニオ)	資格名	サッカーコーチ 3
指導選手名	相馬 勇紀		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した相馬勇紀選手を、三菱養和サッカースクールに在籍期間中の2008年から2009年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	沢田 謙太郎 (サワダ ケンタロウ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	大迫 敬介		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した大迫敬介選手を、サンフレッチェ広島ユースに在籍期間中の2015年から2017年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	池田 裕之 (イケダ ヒロユキ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	相馬 勇紀		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した相馬勇紀選手を、三菱養和サッカークラブ調布ジュニアユースに在籍期間中の2009年から2011年に指導をし、選手育成に貢献した。		

氏名	長谷川 健司 (ハセガワ ケンジ)	資格名	サッカーコーチ 3
指導選手名	前田 大然		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した前田大然選手を、川上フットボールクラブに在籍期間中の2010年から2012年の間指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	渡辺 毅 (ワタナベ タケシ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	中山 雄太		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した中山雄太選手を、柏レイソルU-15に在籍期間中の2011年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	藤崎 義孝 (フジサキ ヨシタカ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	富安 健洋		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した富安健洋選手を、アビスパ福岡U-15に在籍期間中の2011年から2013年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	梅津 博徳 (ウメヅ ヒロナリ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	堂安 律		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した堂安律選手を、ガンバ大阪ユースに在籍期間中の2014年から2015年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	平塚 次郎 (ヒラツカ ジロウ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	遠藤 航		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した遠藤航選手を、湘南ベルマーレユースに在籍期間中の2008年から2010年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	片岡 芳武 (カタオカ ヨシタケ)	資格名	サッカーコーチ 1
指導選手名	橋岡 大樹		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した橋岡大樹選手を、浦和久保サッカー少年団に在籍期間中の2009年から2011年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	芳賀 敦 (ハガ アツシ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	酒井 宏樹		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した酒井宏樹選手を、柏レイソルU-18に在籍期間中の2007年から2008年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	土田 哲也 (ツチダ テツヤ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	町田 浩樹		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した町田浩樹選手を、鹿島アントラーズつくばジュニアユースに在籍期間中の2011年から2012年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	熊谷 浩二 (クマガイ コウジ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	町田 浩樹		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した町田浩樹選手を、鹿島アントラーズユースに在籍期間中の2014年から2015年に指導をし、選手育成に貢献した。		

氏名	上田原 剛 (ウエダハラ タケシ)	資格名	サッカーコーチ4
指導選手名	町田 浩樹		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した町田浩樹選手を、鹿島アントラーズつくばジュニアに在籍期間中の2007年から2009年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	三浦 大輔 (ミウラ ダイスケ)	資格名	サッカーコーチ3
指導選手名	久保 建英、三浦 成美		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位 サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した久保建英選手を、FCパーシモンに在籍期間中の2008年4月から2010年3月に指導をし、選手育成に貢献した。また、同大会になでしこジャパン (日本女子代表) の選手として出場した、三浦成美選手がFCパーシモンに在籍期間中の2007年から2010年についても指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	久藤 清一 (クドウ キヨカズ)	資格名	サッカーコーチ4
指導選手名	富安 健洋		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した富安健洋選手を、アビスパ福岡U-18に在籍期間中の2014年から2015年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	平野 直樹 (ヒラノ ナオキ)	資格名	サッカーコーチ4
指導選手名	林 大地		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した林大地選手を、履正社高等学校に在籍期間中の2013年から2015年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	村田 一弘 (ムラタ カズヒロ)	資格名	サッカーコーチ4
指導選手名	瀬古 歩夢		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した瀬古歩夢選手を、セレッソ大阪U-18に在籍期間中の2016年から2018年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	大畑 開 (オオハタ カイ)	資格名	サッカーコーチ4
指導選手名	瀬古 歩夢		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した瀬古歩夢選手を、セレッソ大阪U-10、セレッソ大阪U-15に在籍期間中の2010年、2014年から2015年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	石川 慎一 (イシカワ シンイチ)	資格名	サッカーコーチ1
指導選手名	林 大地		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した林大地選手を、千里ひじりサッカークラブに在籍期間中の2007年から2009年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	松尾 元太 (マツオ ゲンタ)	資格名	サッカーコーチ3
指導選手名	林 大地		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した林大地選手を、大阪体育大学学友会サッカー部に所属期間中の2016年から2019年に指導をし、選手育成に貢献した。		

氏名	清川 浩行 (キヨカワ ヒロユキ)	資格名	サッカーコーチ4
指導選手名	酒井 宏樹		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) にU-24日本代表チームメンバーとして出場した酒井宏樹選手を、柏レイソルU-18に在籍期間中の2006年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	関口 孝雄 (セキグチ タカオ)	資格名	サッカーコーチ1
指導選手名	池田 咲紀子		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の池田咲紀子選手を、浦和ラッキーズフットボールクラブに在籍期間中の2001年から2005年の間指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	吉村 望 (ヨシムラ ノゾム)	資格名	サッカーコーチ1
指導選手名	清水 梨紗		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の清水梨紗選手を、FCすずき野レディースに在籍期間中の2005年から2008年指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	吉武 裕一 (ヨシタケ ユウイチ)	資格名	サッカーコーチ1
指導選手名	杉田 妃和		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の杉田妃和選手を、FCグローバルに在籍期間中の2009年から2011年指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	宮崎 計亮 (ミヤザキ ケイスケ)	資格名	サッカーコーチ1
指導選手名	山下 杏也加		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の山下杏也加選手を、足立レディースフットボールクラブに在籍期間中の2008年から2010年指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	後藤 政実 (ゴトウ マサミ)	資格名	サッカーコーチ4
指導選手名	熊谷 紗希		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の熊谷紗希選手を、札幌リングサッカークラブに在籍期間中の2003年から2004年、クラブフィールズリングに在籍期間中の2004年から2005年に指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	今泉 守正 (イマイズミ モリナオ)	資格名	サッカーコーチ4
指導選手名	菅澤 優衣香、三宅 史織		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の菅澤優衣香選手、三宅史織選手をJFAアカデミー福島に在籍期間中に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	佐藤 敦 (サトウ ツトム)	資格名	サッカーコーチ3
指導選手名	木下 桃香		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の木下桃香選手を、与野上落合サッカースポーツ少年団に在籍期間中の2012年に指導をし、選手育成に貢献した。		

氏名	寺谷 真弓 (テラタニ マユミ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	岩渕 真奈、田中 美南、清水 梨紗、初木 結花、長谷川 唯、三浦 成美、宮川 麻都、木下 桃香		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の岩渕真奈選手、田中 美南選手、清水 梨紗選手、初木 結花選手、長谷川唯選手、三浦成美選手、宮川麻都選手、木下桃香選手を日テレ・メニーナ在籍期間中指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	神戸 慎太郎 (カンベ シンタロウ)	資格名	サッカーコーチ 3
指導選手名	池田 咲紀子、塩越 柚歩		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の池田咲紀子選手、塩越柚歩選手を浦和レッドダイヤモンズジュニアユースレディースに在籍期間中指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	杉田 徹 (スギタ トオル)	資格名	サッカーコーチ 1
指導選手名	杉田 妃和		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の杉田妃和選手を、二島藤木フットボールクラブ (現: 二島フットボールクラブ) に在籍期間中の2004年から2009年に指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	西 友純 (ニシ トモズミ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	三宅 史織		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の三宅史織選手を、真栄サッカースポーツ少年団に在籍期間中の2005年から2007年の間指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	川見 弘 (カワミ ヒロシ)	資格名	サッカーコーチ 1
指導選手名	木下 桃香		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の木下桃香選手を、大宮日進 S レディースに在籍期間中の2009年から2014年に指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	田中 治夫 (タナカ ハルオ)	資格名	サッカーコーチ 1
指導選手名	長谷川 唯		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の長谷川唯選手を、戸木南ボンバーズ少女サッカーチームに在籍期間中の2005年から2007年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	渡邊 和典 (ワタナベ カズノリ)	資格名	サッカーコーチ 3
指導選手名	菅澤 優衣香		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の菅澤優衣香選手を、FC千葉なのはなに在籍期間中の2002年から2004年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	樋渡 群 (ヒワタシ グン)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	三宅 史織		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の三宅史織選手をJFAアカデミー福島に在籍期間中指導をし、選手育成に貢献した。		

氏名	福永 亜紀 (フクナガ アキ)	資格名	サッカーコーチ 3
指導選手名	中島 依美		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の中島依美選手を、ラガツァ FC高槻スペランツァに在籍期間中の2005年から2008年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	木村 リエ (キムラ リエ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	遠藤 純		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の遠藤純選手を、JFAアカデミー福島に在籍期間中の2013年から2016年に指導をし、選手育成に貢献した。現在も、JFAアカデミー今治および、JFAコーチとして選手育成に尽力している。		
氏名	見汐 翔太 (ミシオ ショウタ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	遠藤 純		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の遠藤純選手を、JFAアカデミー福島に在籍期間中の2013年から2015年の間指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	八楸 晶子 (ヤクワ アキコ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	遠藤 純		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の遠藤純選手を、JFAアカデミー福島に在籍期間中の2016年から2017年指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	賀谷 英司 (ガヤ エイジ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	遠藤 純		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の遠藤純選手を、JFAアカデミー福島に在籍期間中の2018年から2019年の間指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	有田 和成 (アリタ カズナリ)	資格名	サッカーコーチ 1
指導選手名	山下 杏也加		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の山下杏也加選手を、村田女子高等学校に在籍期間中の2011年から2013年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	鈴木 俊 (スズキ シュン)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	三浦 成美、宮川 麻都		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の三浦成美選手、宮川麻都選手を日テレ・メニーナに在籍期間中指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	沖田 政夫 (オキタ マサオ)	資格名	サッカーコーチ 3
指導選手名	山下 杏也加		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の山下杏也加選手を、日テレ・メニーナに在籍期間中の2014年に指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	中森 亮 (ナカモリ リョウ)	資格名	サッカーコーチ 1
指導選手名	宮川 麻都		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の宮川麻都選手を、NPO横浜スポーツアンドカルチャークラブコスモスに在籍中の2007年から2009年の間指導し、選手育成に貢献した。		

氏名	小林 正俊 (コバヤシ マサトシ)	資格名	サッカーコーチ 1
指導選手名	三浦 成美		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (女子) / 8位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に出場したなでしこジャパン (日本女子代表) の三浦成美選手を、川崎富士見台FC在籍期間中の2006年から2007年の間指導をし、選手育成に貢献した。		
氏名	井上 直喜 (イノウエ ナオキ)	資格名	サッカーコーチ 3
指導選手名	赤熊 卓弥		
大会名	FIFAビーチサッカーワールドカップロシア2021	種目・成績	サッカー (ビーチサッカー) / 2位
主な功績	FIFAビーチサッカーワールドカップロシア2021に出場し、チームとして準優勝という成績を収め、個人としてブロンズ賞を受賞した赤熊卓也選手を、福岡県立東鷹高等学校サッカー部にて2005年から2007年の3年間指導した。福岡県の国民体育大会少年チームの監督・コーチを歴任し、現在指導者養成事業に携わり、C級・D級インストラクターも務めている。		
氏名	吉田 泰久 (ヨシダ ヤスヒサ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	赤熊 卓弥		
大会名	FIFAビーチサッカーワールドカップロシア2021	種目・成績	サッカー (ビーチサッカー) / 2位
主な功績	FIFAビーチサッカーワールドカップロシア2021に出場し、チームとして準優勝という成績を収め、個人としてブロンズ賞を受賞した赤熊卓也選手を、添田ストライカーズにて1999年から2001年の3年間指導した。福岡県サッカー協会においては、C級・D級インストラクター、チーフインストラクターを歴任し、現在は福岡県サッカー協会での育成事業にも携わっている。		
氏名	池口 芳幸 (イケグチ ヨシユキ)	資格名	サッカーコーチ 3
指導選手名	赤熊 卓弥		
大会名	FIFAビーチサッカーワールドカップロシア2021	種目・成績	サッカー (ビーチサッカー) / 2位
主な功績	FIFAビーチサッカーワールドカップロシア2021に出場し、チームとして準優勝という成績を収め、個人としてブロンズ賞を受賞した赤熊卓也選手を、添田ストライカーズにて1999年から2001年の3年間指導した。また、2002年から2005年の間、福岡県サッカー協会フットサル委員および福岡県サッカー協会筑豊支部フットサル委員長を歴任した。		

推薦団体：公益財団法人 日本バスケットボール協会

氏名	井上 眞一 (イノウエ シンイチ)	資格名	バスケットボールコーチ 1
指導選手名	高田 真希、三好 南穂、馬瓜 エブリン		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	バスケットボール (女子) / 2位
主な功績	桜花学園高等学校女子バスケットボール部でU18世代の高田真希選手、三好南穂選手、馬瓜エブリン選手らを指導し、世界で戦うことのできる選手の育成に大きく貢献した。全日本ジュニア (現U18) ヘッドコーチを務めるなど、その功績は誠に顕著である。		
氏名	一関 智子 (イチノセキ トモコ)	資格名	バスケットボールコーチ 1
指導選手名	赤穂 ひまわり		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	バスケットボール (女子) / 2位
主な功績	昭和学院中学校女子バスケットボール部でU15世代の赤穂ひまわり選手を指導し、世界で戦うことのできる選手の育成に大きく貢献した。		
氏名	鈴木 親光 (スズキ チカミツ)	資格名	バスケットボールコーチ 3
指導選手名	赤穂 ひまわり		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	バスケットボール (女子) / 2位
主な功績	昭和学院高等学校女子バスケットボール部でU18世代の赤穂ひまわり選手を指導し、世界で戦うことのできる選手の育成に大きく貢献した。		
氏名	上島 正光 (カミシマ マサミツ)	資格名	バスケットボールコーチ 1
指導選手名	町田 瑠唯、長岡 萌映子、東藤 なな子		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	バスケットボール (女子) / 2位
主な功績	札幌山の手高等学校女子バスケットボール部でU18世代の町田瑠唯選手、長岡萌映子選手、東藤なな子選手を指導し、世界で戦うことのできる選手の育成に大きく貢献した。		

氏名	松浦 英和 (マツウラ ヒデカズ)	資格名	バスケットボールコーチ1
指導選手名	本橋 菜子		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	バスケットボール (女子) / 2位
主な功績	朝霞台ユニオンズでU12世代の本橋菜子選手を指導し、世界に羽ばたく選手の土台をつくりあげた。		
氏名	松浦 晶子 (マツウラ アキコ)	資格名	バスケットボールコーチ1
指導選手名	本橋 菜子		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	バスケットボール (女子) / 2位
主な功績	朝霞台ユニオンズでU12世代の本橋菜子選手を指導し、世界に羽ばたく選手の土台をつくりあげた。		
氏名	萩原 美樹子 (ハギワラ ミキコ)	資格名	バスケットボールコーチ4
指導選手名	本橋 菜子		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	バスケットボール (女子) / 2位
主な功績	アシスタントコーチとして第28回オリンピック競技大会 (2004 / アテネ)、ヘッドコーチとしてユニバーシアード競技大会、アンダーカテゴリー大会等を中心に女子代表を世界へと導きながら、早稲田大学並びにWリーグ東京羽田ヴィッキーズで、本橋菜子選手を指導した。第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) 銀メダル獲得という女子バスケット界に輝かしい功績をもたらした貢献者の一人といえる。		
氏名	棟方 公寿 (ムナカタ コウジュ)	資格名	バスケットボールコーチ4
指導選手名	本橋 菜子		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	バスケットボール (女子) / 2位
主な功績	Wリーグ東京羽田ヴィッキーズで本橋菜子選手を指導し、第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) 銀メダル獲得という女子バスケット界に輝かしい功績をもたらした貢献者の一人といえる。		
氏名	大上 晴司 (オオウエ セイジ)	資格名	バスケットボールコーチ3
指導選手名	林 咲希		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	バスケットボール (女子) / 2位
主な功績	精華女子高等学校バスケットボール部でU18世代の林咲希選手を指導し、世界で戦うことのできる選手の育成に大きく貢献した。		
氏名	佐藤 智信 (サトウ トシノブ)	資格名	バスケットボールコーチ4
指導選手名	林 咲希		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	バスケットボール (女子) / 2位
主な功績	白鷗大学女子バスケットボール部で林咲希選手を指導し、世界で戦うことのできる選手の育成に大きく貢献した。		
氏名	佐藤 謙介 (サトウ ケンスケ)	資格名	バスケットボールコーチ4
指導選手名	林 咲希		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	バスケットボール (女子) / 2位
主な功績	白鷗大学女子バスケットボール部で林咲希選手を指導し、世界で戦うことのできる選手の育成に大きく貢献した。		
氏名	佐藤 清美 (サトウ キヨミ)	資格名	バスケットボールコーチ4
指導選手名	宮澤 夕貴、林 咲希、宮崎 早織		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	バスケットボール (女子) / 2位
主な功績	WリーグJX-ENEOSサンフラワーズ (現: ENEOSサンフラワーズ) でヘッドコーチとして、宮澤夕貴選手、林咲希選手、宮崎早織選手を指導し、第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) 銀メダル獲得という女子バスケット界に輝かしい功績をもたらした貢献者の一人といえる。		

氏名	梅寄 英毅 (ウメザキ エイキ)	資格名	バスケットボールコーチ4
指導選手名	宮澤 夕貴、林 咲希、宮崎 早織		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	バスケットボール (女子) / 2位
主な功績	第28回、第31回オリンピック競技大会のアシスタントコーチとして日本代表を牽引しながら、WリーグJX-ENEOSサンフラワーズ (現: ENEOSサンフラワーズ) でヘッドコーチとして宮澤夕貴選手、林咲希選手、宮崎早織選手を指導した。第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) 銀メダル獲得という女子バスケット界に輝かしい功績をもたらした貢献者の一人といえる。		
氏名	一色 建志 (イツシキ タツシ)	資格名	バスケットボールコーチ4
指導選手名	宮崎 早織		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	バスケットボール (女子) / 2位
主な功績	2003年からU18日本代表のアシスタントコーチ、ヘッドコーチを永年経験し、アンダーカテゴリーの日本代表を牽引した。聖カタリナ学園高等学校女子バスケットボール部では、ヘッドコーチとしてU18世代の宮崎早織選手を指導しており、第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) 銀メダル獲得という女子バスケット界に輝かしい功績をもたらした貢献者の一人といえる。		
氏名	田村 佳代 (タムラ カヨ)	資格名	バスケットボールコーチ1
指導選手名	宮崎 早織		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	バスケットボール (女子) / 2位
主な功績	聖カタリナ学園高等学校女子バスケットボール部のコーチとしてU18世代の宮崎早織選手を指導し、世界で戦うことのできる選手の育成に大きく貢献した。		

推薦団体：公益財団法人 日本スケート連盟

氏名	黒岩 彰 (クロイワ アキラ)	資格名	スケートコーチ3
指導選手名	押切 美沙紀	種目・成績	スピードスケート 女子5000m / 8位
大会名	第24回オリンピック冬季競技大会 (2022 / 北京)		
主な功績	第24回オリンピック冬季競技大会女子5000mで8位入賞した押切美沙紀選手を、所属していた富士急行株式会社で4年間直接指導し、当該選手の入賞に大きく貢献した。		
氏名	小野 俊 (オノ スグル)	資格名	スケートコーチ1
指導選手名	高橋 美生	種目・成績	スピードスケート 女子3000m / 3位
大会名	ISU世界ジュニアスピードスケート選手権大会		
主な功績	ISU世界ジュニアスピードスケート選手権大会女子3000mで銅メダルを獲得した高橋美生選手の所属先である山形中央高校スケート部の指導者として、3年間直接指導し、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	土屋 賢祐 (ツチヤ タダスケ)	資格名	スケートコーチ1
指導選手名	廣瀬 勇太	種目・成績	スピードスケート 男子500m / 3位
大会名	ISU世界ジュニアスピードスケート選手権大会		
主な功績	ISU世界ジュニアスピードスケート選手権大会男子500mで銅メダルを獲得した廣瀬勇太選手の所属先である姫恋高校スケート部の指導者として、2年間直接指導し、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	入澤 孝一 (イリサワ コウイチ)	資格名	スケートコーチ4
指導選手名	松本 一成	種目・成績	スピードスケート 男子団体追い抜き / 1位 男子マススタート / 3位
大会名	ISU世界ジュニアスピードスケート選手権大会		
主な功績	ISU世界ジュニアスピードスケート選手権大会男子団体追い抜きで金メダル、男子マススタートで銅メダルを獲得した松本一成選手の所属先である高崎健康福祉大学スケート部の指導者として直接指導し、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	大村 正彦 (オオムラ マサヒコ)	資格名	スケートコーチ3
指導選手名	松本 一成	種目・成績	スピードスケート 男子団体追い抜き / 1位 男子マススタート / 3位
大会名	ISU世界ジュニアスピードスケート選手権大会		
主な功績	ISU世界ジュニアスピードスケート選手権大会男子団体追い抜きで金メダル、男子マススタートで銅メダルを獲得した松本一成選手を諏訪実業高校スケート部の指導者として、3年間直接指導し、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		

氏名	市川 英彦 (イチカワ ヒデヒコ)	資格名	スケートコーチ 3
指導選手名	佐々木 翔夢	種目・成績	スピードスケート 男子団体追い抜き / 1位
大会名	ISU世界ジュニアスピードスケート選手権大会		
主な功績	ISU世界ジュニアスピードスケート選手権大会男子団体追い抜きで金メダルを獲得した佐々木翔夢選手を小海高校スケート部の指導者として、現在に至るまで直接指導し、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	後藤 陽 (ゴトウ アキラ)	資格名	スケートコーチ 3
指導選手名	笠原 光太郎	種目・成績	スピードスケート 男子団体追い抜き / 1位
大会名	ISU世界ジュニアスピードスケート選手権大会		
主な功績	ISU世界ジュニアスピードスケート選手権大会男子団体追い抜きで金メダルを獲得した笠原光太郎選手を帯広三条高校スケート部の指導者として、3年間直接指導し、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	伊藤 雅敏 (イトウ マサトシ)	資格名	スケートコーチ 3
指導選手名	菊池 耕太、小池 克典	種目・成績	ショートトラック スピードスケート 男子5000mリレー / 8位
大会名	第24回オリンピック冬季競技大会(2022 / 北京)		
主な功績	第24回オリンピック冬季競技大会ショートトラック男子500mリレーで8位入賞した菊池耕太選手と小池克典選手を、ナショナルチームの指導者として、2018年から現在に至るまで直接指導し、当該選手の入賞に大きく貢献した。		
氏名	成瀬 葉里子 (ナルセ ヨリコ)	資格名	スケート教師
指導選手名	壺井 達也	種目・成績	フィギュアスケート 男子シングル / 3位
大会名	ISU世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会		
主な功績	ISU世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会男子シングルで銅メダルを獲得した壺井達也選手を、高校生時代の3年間直接指導し、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	中野 園子 (ナカノ ソノコ)	資格名	スケートコーチ 3 スケート教師
指導選手名	壺井 達也	種目・成績	フィギュアスケート 男子シングル / 3位
大会名	ISU世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会		
主な功績	ISU世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会男子シングルで銅メダルを獲得した壺井達也選手を、大学進学から現在に至るまで直接指導し、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	グレアム 充子 (グレアム ミツコ)	資格名	スケート教師
指導選手名	壺井 達也	種目・成績	フィギュアスケート 男子シングル / 3位
大会名	ISU世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会		
主な功績	ISU世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会男子シングルで銅メダルを獲得した壺井達也選手を、大学進学から現在に至るまで直接指導し、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		

推薦団体：公益財団法人 全日本柔道連盟

氏名	中村 兼三 (ナカムラ ケンゾウ)	資格名	柔道コーチ 1
指導選手名	①大野 将平、②永瀬 貴規		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	①柔道73kg級 / 1位 ②柔道81kg級 / 1位
主な功績	全日本柔道連盟強化副委員長として、日本代表の育成に関わるとともに、所属の旭化成において柔道指導に専念し、日本代表である大野将平選手や永瀬貴規選手を育て、第32回オリンピック競技大会(2020 / 東京)では両選手が優勝し、輝かしい成績を収めた。また、数多くの有力選手を育て上げ世界の舞台に送り出してきた。現在も引き続き、旭化成において後身の柔道指導に熱心に取り組むなど、その功績は誠に顕著である。		

氏名	山田 利彦 (ヤマダ トシヒコ)	資格名	柔道コーチ3
指導選手名	ウルフ アロン		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	柔道100kg級 / 1位
主な功績	全日本柔道連盟強化副委員長として、日本代表の育成に関わるとともに、所属の了徳寺大学において柔道指導に専念し、日本代表であるウルフアロン選手を育て、第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) で優勝し、輝かしい成績を収めた。また、数多くの有力選手を育て上げ世界の舞台に送り出してきた。現在も引き続き、了徳寺大学において後身の柔道指導に熱心に取り組むなど、その功績は誠に顕著である。		

推薦団体：公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会

氏名	伊東 秀和 (イトウ ヒデカズ)	資格名	フィットネストレーナー
指導選手名	①野中 生萌、②野口 啓代		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	①スポーツクライミング / 2位 ②スポーツクライミング / 3位
主な功績	主宰するクライミングスクール (アスリートクラス) で指導し、野中生萌選手、野口啓代選手を第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) 出場へ導いた。その功績は誠に顕著である。		
氏名	篠崎 喜信 (シノザキ ヨシノブ)	資格名	スポーツクライミングコーチ4
指導選手名	野中 生萌		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	スポーツクライミング / 2位
主な功績	1998年から東京都山岳連盟の常務理事、競技委員長、国民体育大会監督、コーチなどを務め、所属選手である野中生萌選手は、第68回国民体育大会 (東京都) から第73回国民体育大会 (福井県) に出場した。また、2004年から2010年に日本山岳・スポーツクライミング協会にて日本代表監督、コーチを務め、スポーツクライミングの競技力向上に一貫して務めており、その功績は誠に顕著である。		
氏名	安井 博志 (ヤスイ ヒロシ)	資格名	山岳コーチ2 スポーツクライミングコーチ4
指導選手名	野口 啓代		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	スポーツクライミング / 3位
主な功績	2003年から鳥取県山岳協会国体強化部長、2009年からユース日本代表コーチ、2010年からは日本オリンピック委員強化スタッフを務めた。現在は、日本代表ヘッドコーチとしてスポーツクライミングの競技力向上に一貫して務めており、その功績は誠に顕著である。		

【表彰の基準 第3号】 1名

受賞年度に満30歳以下の公認スポーツ指導者のうち、今後、当該団体において中心的な役割を担うことが期待される方。

推薦団体：公益財団法人 日本サッカー協会

氏名	佐藤 孝大 (サトウ タカヒロ)	資格名	サッカーコーチ3
指導選手名	U-24日本代表チーム		
大会名	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京)	種目・成績	サッカー (男子) / 4位
主な功績	第32回オリンピック競技大会 (2020 / 東京) に向けた強化スタッフとして2018年から活動し、テクニカルスタッフおよびコーチングスタッフのサポートとしても、本大会での4位入賞に大きく貢献した。育成年代表チームでもテクニカルスタッフとして活動しており、ナショナルコーチングスタッフからの厚い信頼も得ている。		

【表彰の基準 第5号】 1名

公認スポーツ指導者制度の確立及び発展などのために貢献し、顕著な功績があるとして当協会が特に認めた方。

推薦団体：公益財団法人 日本スポーツ協会

氏名	酒井 宏哉 (サカイ ヒロヤ)		
資格名	スポーツドクター		
主な功績	2005年度から永年にわたり、公認スポーツドクター養成講習会講師 (運動と外傷-軟部組織の外傷) や日本スポーツ協会スポーツドクター部会委員としてスポーツドクターの育成に貢献しており、その功績は誠に顕著である。		

次は私たちの時代 誓う、フェアプレイ



森山真稔 (26 歳 フライングディスク)



三木萌子 (21 歳 サッカー)



池田春子 (22 歳 水泳)



小山滉平 (20 歳 ローラースケート)



山内康輔 (21 歳 バレーボール)



中島理沙 (21 歳 なぎなた)

「フェアプレー」って、空気のように当たり前のようで、改めて考えてみると、わかっていないものかも…
そんなフェアプレーを、JSPPO (日本スポーツ協会) は考え続け、さまざまな取組を行っています。
日本の未来を担う若者がフェアプレーをとことん考える「フェアプレイ会議」もそのひとつ。
フェアプレーを考えている JSPPO も、スポーツを楽しむ皆さんにとっては
空気のような存在なのかもしれません。
それでも、JSPPO はあなたのスポーツを確かにサポートしています。
あなたのフェアプレイ宣言で、ともに望む未来へ。



WEB でフェアプレイ宣言募集中

フェアプレイ宣言

検索

2019.04 時点

SPORT
JSPO OFFICIAL LICENSE